

令和2年度

学校評価アンケート

結果報告

杉並区立天沼小学校運営協議会

会長 高橋

武郎

杉並区立天沼小学校

校長 松野

泰一

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

また、このたびの学校評価アンケートには、保護者の皆様、児童、教職員、地域の皆様等、天沼小学校に関わる多くの方にご回答いただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

ご協力いただいたアンケート結果の集計が終了いたしましたので、皆様にご報告申し上げます。今年度の保護者アンケートの回収率は 62.9%でした。例年に比べて若干少ない回収率になりましたが、自由意見記述欄も含め、天沼小学校の教育活動に対して、ご理解をいただけている内容となっております。

以下、設問ごとの評価、自由記述欄のご意見に基づき、学校運営協議会で考察をし、次年度の教育活動に生かしていくよう協議を行った内容です。情報不足と考えられる事柄については解説も加えておりますので、あわせてご覧ください。

以下、設問ごとの評価、自由記述欄のご意見に基づき、全体の傾向から見た考察をまとめました。これらは、今後の天沼小学校の教育に生かしていくよう協議を行った内容です。あわせてご確認ください。

学校評価アンケート実施を通してめざすもの

- (1) 児童・保護者・地域の方と連携を深めながら、一人ひとりの子どものよりよい育ちを促すために、天沼小学校の教育への理解を深めていただく。
- (2) 天沼小学校の教育活動をより推進するための評価を責任をもって行い、学校教育活動への参画意識を高めていただく。
- (3) 「安全・安心な教育環境の実現」という視点から、施設・組織としての学校運営のあり方について連携と認識を深めていただく。

全体の傾向からみた考察

❖ 全体的に高い評価を示すアンケートの結果

この学校評価は、天沼小学校の目指す学校の教育目標や、育てたい子ども像の実現のため、今年度 1 年間に実践してきた主たる教育活動について、様々な立場の皆様から評価をいただき、学校運営協議会にて、その成果や課題に考察を加えて、次年度の教育計画や教育活動の改善に役立てる取組です。

こうした観点から、全 21 項目の質問のうち、今年度実施できなかった取組（設問 16 と 17 に関する）を除く 19 項目の評価回答の結果を概観すると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「肯定回答率」は 9 割以上となり、高い評価をいただくことができました。

また、昨年 11 月に実施された杉並区教育委員会の「教育調査アンケート」の結果（あまぬまだより 2 月号参照）でも、平均肯定率が 8 割以上という高い評価をいただいているので、天沼小学校

の教育活動の実践が、家庭、地域の方々のご理解やご支援を得て、その成果が着実に定着してきていると言えます。

年度初めに「『天沼小学校がめざす教育』のご紹介」をお配りするとともに、ホームページの「学校運営協議会【CS】」サイトでもご紹介をしました。コロナ禍にあって、例年に比べると直接皆様にお話しする機会が少なくなりましたが、日頃からの皆様のご理解、ご協力があってこそ、評価であったと考えています。

設問ごとのご報告



ご報告の記載方法は、一番上に設問を、次にアンケート結果のグラフ、そして学校運営協議会・学校評価委員会にて協議検討した考察を示しております。

「次年度に向けて」については、学校運営協議会がこの評価結果を受け、今後の学校運営に対しての意見を述べ、来年度の教育内容への反映を目指して協議した内容です。

また、家庭・地域の皆様とともに進めていきたい教育内容についても記載しています。学校・家庭・地域がともに連携して、天沼小学校の子どもたちの成長を支援していきましょう。



学校運営協議会の今年度の活動を振り返って

天沼小学校学校運営協議会 会長 高橋武郎

今年度は、コロナ禍による臨時休校や行事の中止など、大変な1年間となりました。しかし、そのような中、松野校長先生をはじめ本校の教職員の方々は、子どもたちのために、毎日の除菌作業に加え、学習の遅れを取り戻すための工夫に取り組むなど、精一杯に尽力してくださいました。ここに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

一方、臨時休校中の5月、私ども学校運営協議会では、杉並区でもオンライン授業を実現するよう、教育長宛ての意見書を提出しました。そして、その成果と思われますが、杉並区でもオンライン授業の実現に向けて動き出したことは、うれしいことの一つです。

このように、私どもの学校運営協議会では、本校の子どもたちの教育の充実を図るため、月1回の定例会で協議を深めながら、学校・保護者・地域が一体となったよりよい教育環境づくりに向け、様々な活動に取り組んでまいりました。この学校評価アンケートも、皆様のお声を学校運営や教育活動の充実に反映させるため、私どもの学校運営協議会が実施している活動の一つです。

今後も、本校の教職員の方々や子どもたちのために、よりよい支援ができるよう努めてまいりますので、改めて保護者・地域の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。1年間、ありがとうございました。

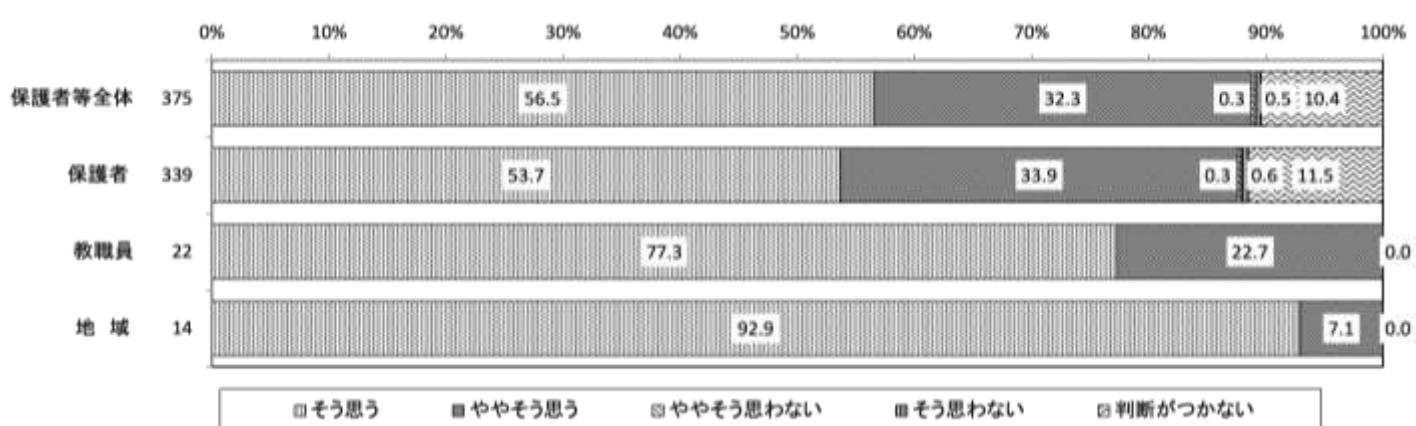
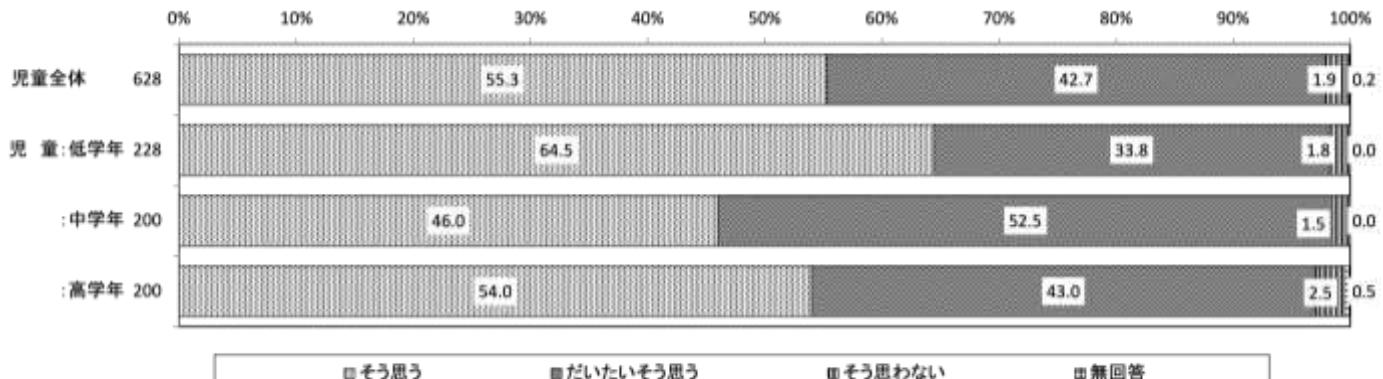
なお、本校が開校以来12年間取り組んできた「天沼会社経営プロジェクト（AKP）」が、優れた金融教育の実践として高く評価され、金融庁と文部科学省が後援する金融広報中央委員会から「特賞」を受賞しました。また、東京都のプログラミング教育推進校としての取り組みも優れた実践として高く評価され、「文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞しましたこともご報告いたします。

1 基礎学力の定着（「学んでわかるおもしろさ」をめざして）

① 「あまぬま学びの約束」の実践

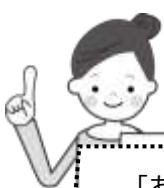
設問

1. あまぬま学びのやくそくがわかり、守っています。(1・2年生)
1. 「天沼のきまり」「あまぬま学びの約束」など、学校生活のルールを守って生活しています。(3・4年生)
1. 「天沼のきまり」「あまぬま学びの約束」などのルールを守り学校生活を送っています。(5・6年生)
① 「あまぬま学びの約束」に基づいて、ルールを守ったスムーズな授業運営が行われている。
(保護者・教職員・地域)



【肯定回答率 児童 97.9% 保護者等 88.8%】(昨年度: 94.8%)

学校生活の基本ルールである「あまぬま学びの約束」については、低学年のうちから継続的に取り組んでいきたいテーマとして、今後も進めていきます。あいさつや帰宅時間、遊ぶ時間など生活における規範についてはぜひ家庭でも取り組んでいただき、学校と家庭が連携して基本的な生活規範を育てていけるよう、ご協力をお願ひいたします。



ちょっとおさらい!
「あまぬま学びの約束」って? その1

「あまぬま学びの約束」は、天沼小における生活の基本ルールです。

この約束を守りながら充実した教育を進めていきます。ご家庭でもお声掛けをよろしくお願いします。

授業前の約束

- ① 休み時間のうちにトイレにいくなど用事をすませておきましょう
- ② 次の学習に必要なものを机の上に出しておきましょう

授業中の約束

- ◆授業の始まりには挨拶をしましょう。いすにすわったままでよい姿勢をしましょう。

(例) 「よい姿勢をしてください (気をつけ)」

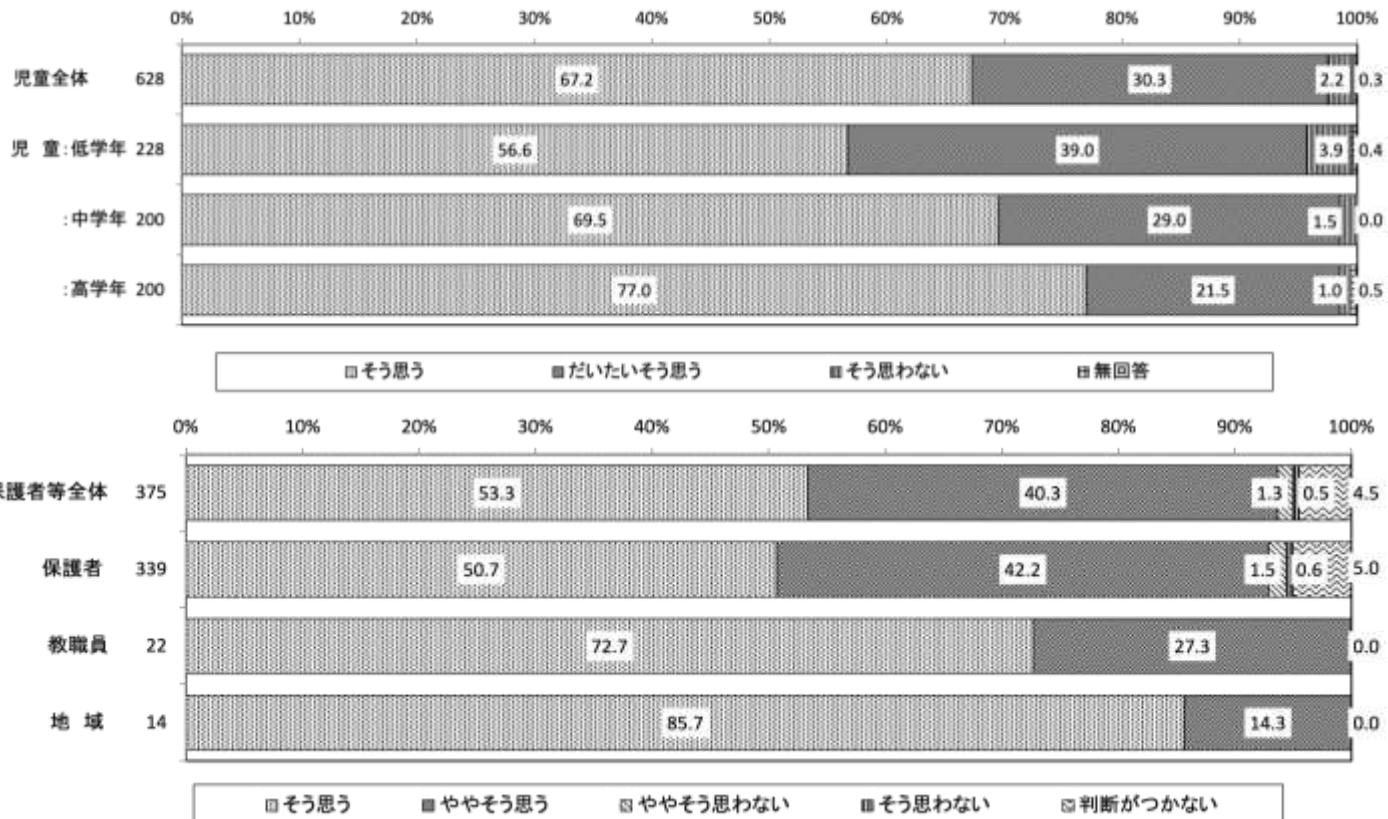
「これから○○の勉強をはじめます」

「よろしくお願いします」

②すべての教育活動での言語活動の充実

設問

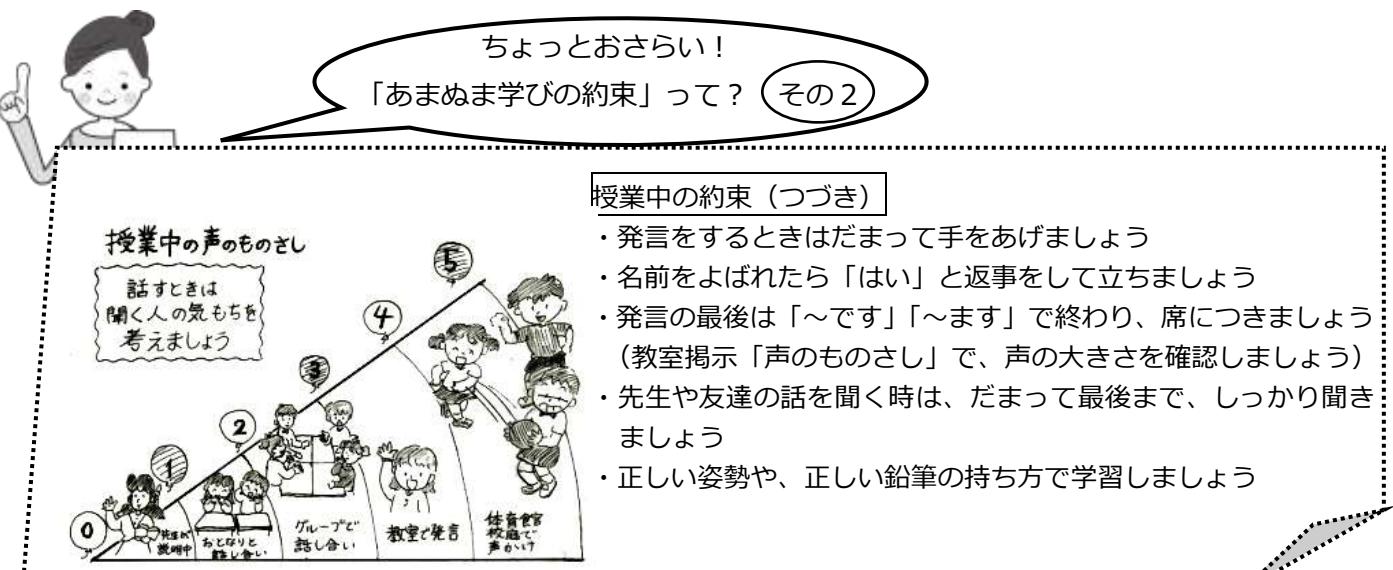
- 2.授業の中で自分の考えを発表したり友達の話を聞いたりすることができます。(1・2年生)
- 2.授業では、ルールにそって話し合ったり考えを書いたりする活動があります。(3・4年生)
- 2.授業中に話し合い活動や振り返りの活動の時間があります。(5・6年生)
- ②授業では話し合い活動を通じて自分の考えを表現したり、感想文で具体的な言葉での表現を考えたり、学びの基本となる「聞く」「話す」「読む」「書く」力を養うための取組が行われている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 97.5% 保護者等 93.6%】(昨年度: 97.1%)

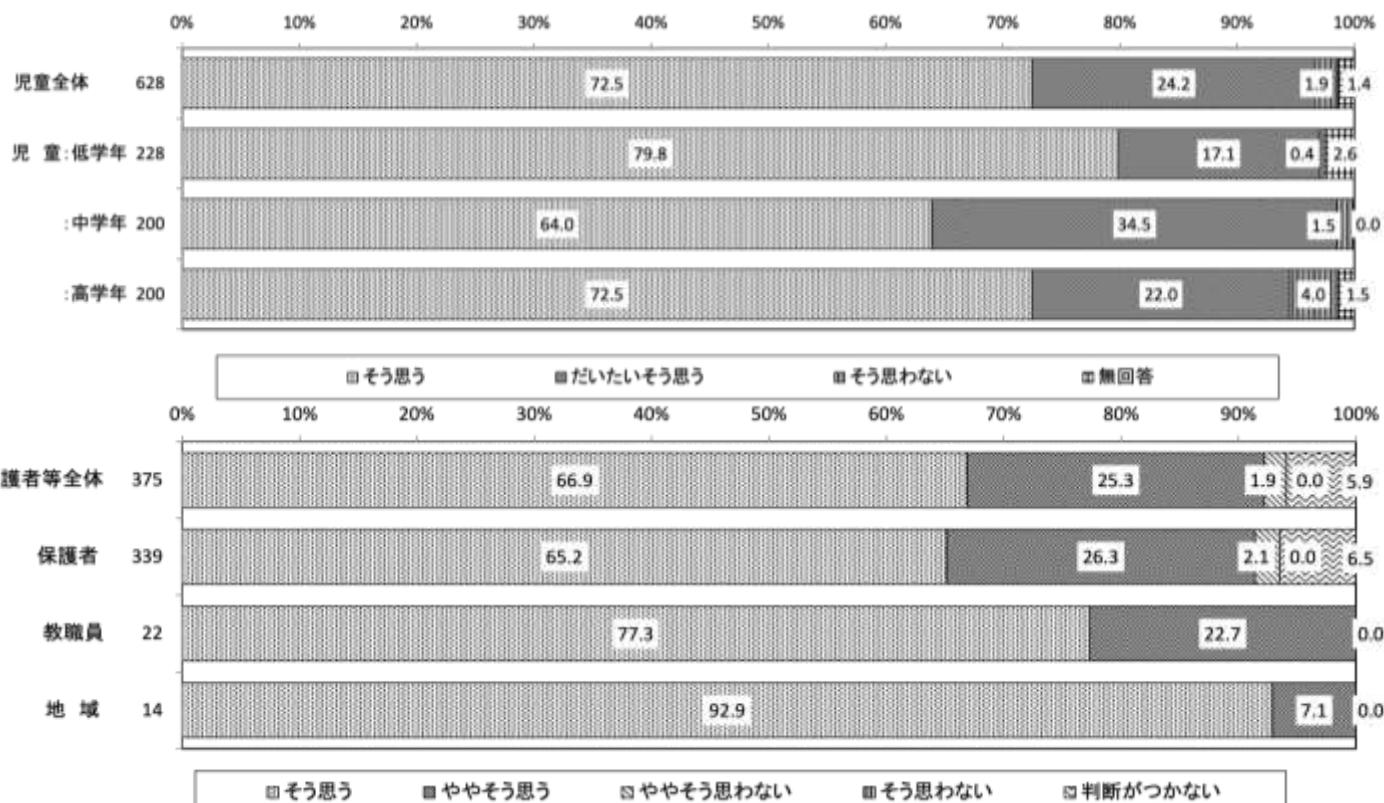
学校におけるすべての教育活動において、自分で考え、自分の言葉で伝え、他者の意見をしっかりと聞く力を養う機会が、学習の中で積極的に設けられていることに対する評価になっています。これからの中では、こうしたコミュニケーション力がとても重要になっていきます。今後も引き続き「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく育てる指導、さらに発表のときには原稿に頼らず、自分の言葉で話す力を養えるように取り組んでいきます。



③算数少人数指導の実施

設問

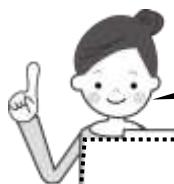
- 3.算数少人数の授業で、先生はいつもていねいに教えてくれます。(1・2年生)
3.算数少人数の授業では、先生が発表や質問にしっかり答えてわかるまで教えてくれます。(3・4年生)
3.算数少人数授業では質問や発表・指示がわかりやすく、自分に合った速さで学習ができます。(5・6年生)
③多様な指導方法により、意欲的に取り組める学習環境が整えられている。(保護者・教職員・地域)



【肯定回答率 児童 96.7% 保護者等 92.3%】(昨年度: 93.2%)

算数少人数指導に関しては、日々の取組が成果につながっていると感じられる結果となりました。児童数が増加傾向にありますが、今後も児童一人ひとりの学習状況に合わせた指導を継続していきます。

次年度に
むけて



ちょっとおさらい!
「算数少人数指導」って? どういう意味があるの?

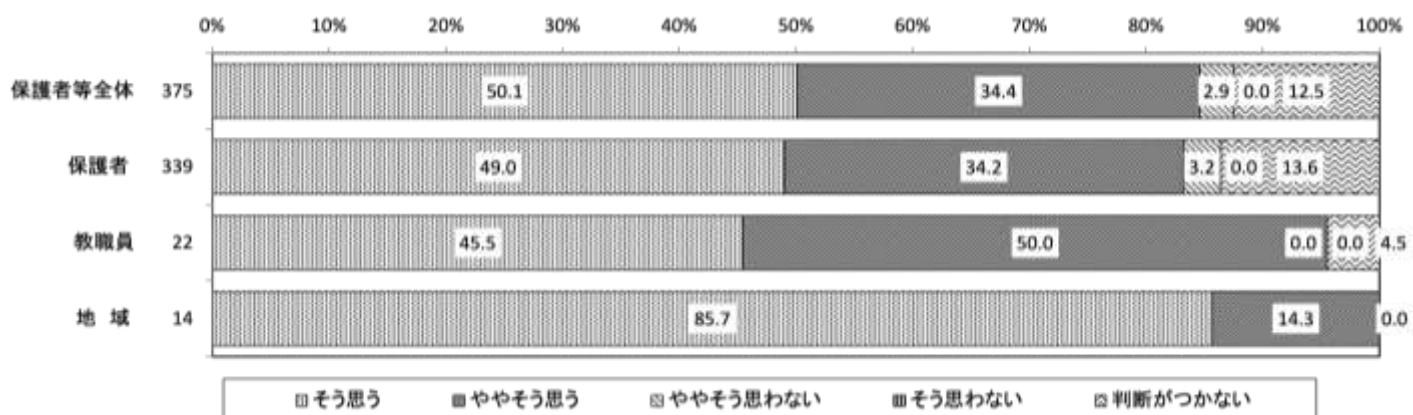
天沼小の算数の学習では、1年生は1組と2組を3展開に、3組を2展開し、その他の学年は3学級4展開、4学級5展開で授業を行い、学習の目的や内容に合わせ、個々に合ったきめ細やかな指導方法を取り入れています。それにより、児童一人ひとりが意欲的に取り組める学習環境がつくられています。

また、習熟度別指導の方法として、1年生は単元によって分け方を変え、2年生以上は「どんどん・すくすく・じっくり」などのコースに分けて、基礎・基本部分の学習を確実に行っていき、また、理解の早い児童はさらに発展問題などに取り組むなどしています。

④教員の専門性を生かした指導の実施

設問

④専科制や教科担当制など、教員の専門性を生かした指導が行われている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

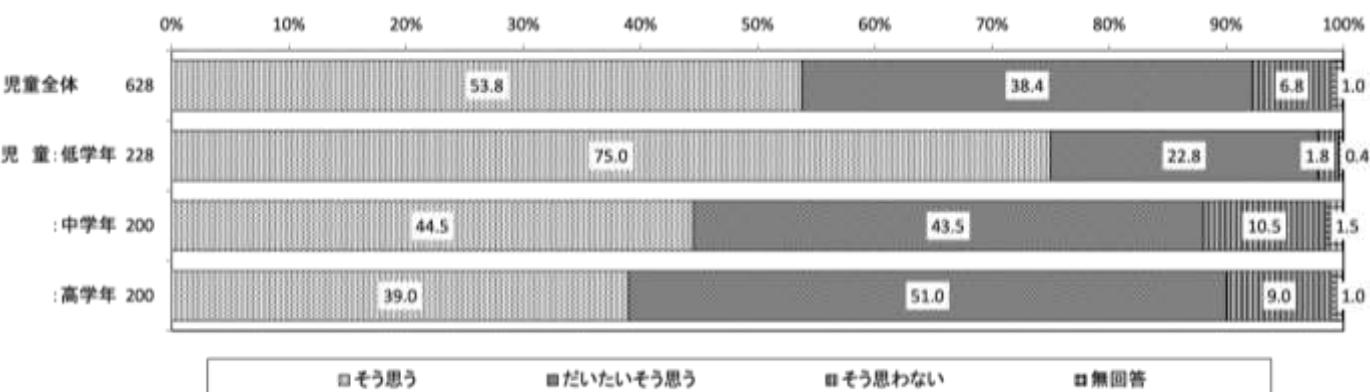
【肯定回答率 保護者等 84.5%】 (昨年度 : 90.1%)

天沼小では、4年生以上の学年では専科制を採用するなど、教員毎の専門性を生かした教育の実施を行うことを目指しています。今年度はコロナウィルスの影響で、学習活動に制限があり必ずしも専門性を十分に生かせない部分がありました。そうした中で、学年毎に教員が子どもたちのために何ができるかを考えて指導に取り組んでいる姿が見られました。次年度も引き続き制約が予想されますが、専門性を発揮できるよう、さらなる指導力の向上と指導体制の構築に取り組んでいきたいと考えています。

⑤基礎学力定着のための取組 【チャレンジタイムについて】

設問

- 4.チャレンジタイムでの学習にがんばって取り組んでいます。(1・2年生)
- 4.チャレンジタイムで学習することで、より力がついています。(3・4年生)
- 4.チャレンジタイムで学習することで、より力がついています。(5・6年生)



次年度に
むけて

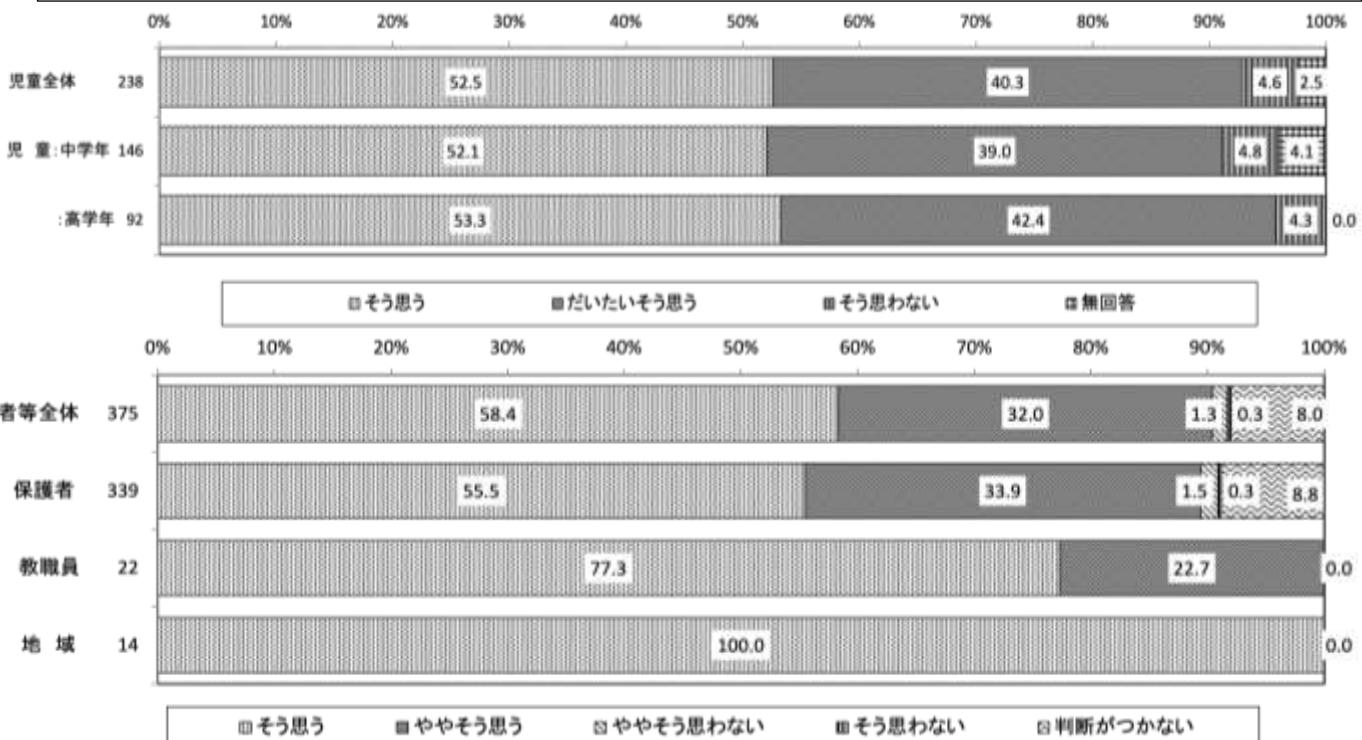
【肯定回答率 児童 92.2%】 (昨年度 : 90.0%)

チャレンジタイム等を用いた学習時間については、継続した取組が特に低学年を中心として成果につながっていると感じられる結果です。今後も効果的な時間として活用していきたいと考えています。今年度は密を避けるため、学年によってチャレンジタイムを休み時間の前後に分散させる工夫をしました。

⑤基礎学力定着のための取組 【フォローアップタイムについて】※参加している児童のみのカウントになっています。

設問

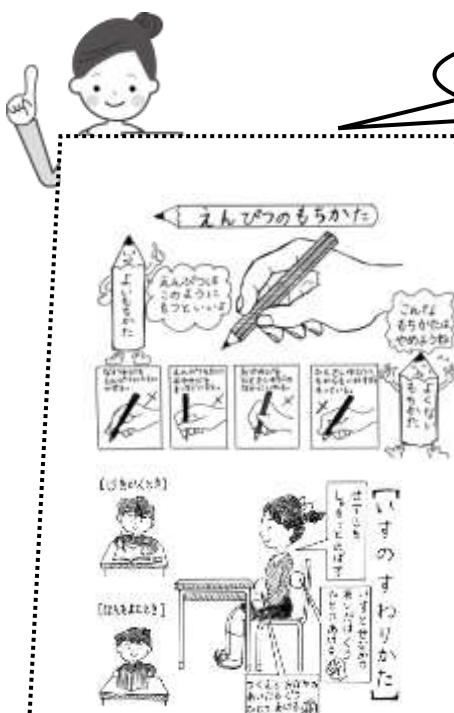
- 5.私はフォローアップタイム・ハッピイスタディ Jr・ハッピイスタディに取り組むことによって力がついています。(3・4年生)
 5.私はフォローアップタイム・ハッピイスタディに取り組むことにより力がついています。(5・6年生)
 ⑤フォローアップタイム、ハッピイスタディ、ハッピイスタディ Jr、チャレンジタイム等を通して、基礎・基本的な学習の定着が図られている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 92.9% 保護者等 90.4%】(昨年度: 89.6%)

「フォローアップタイム」等の学習についても、多様な学習機会の一つとして、今後も有効に活用していきたいと考えます。このような活動は、継続して取り組むことが成果につながっていきます。今後、学校支援本部等の地域協力者と教員との連携をしっかりと図り、より効果的な学びの場にしていきます。



ちょっとおさらい!

「あまぬま学びの約束」って? その3

授業中の約束(つづき)

◆授業の終わりには挨拶をしましょう。

・いすにすわったままでよい姿勢をしましょう

(例)「よい姿勢をしてください(気をつけ)」

「これで○○の勉強を終わります」

「ありがとうございました」

◆ふでばこの中に入れておくもの

*けずった鉛筆5~6本 *赤鉛筆1本 *消しゴム1個

*定規 *名前ペン

*シャーペンシルは持ってこない。

*勉強と関係のないものはもってこない。

*高学年は、必要に応じて、筆箱に入るだけの色ペンをもってきてよい。

◆道具箱の中にかならず入れておくもの

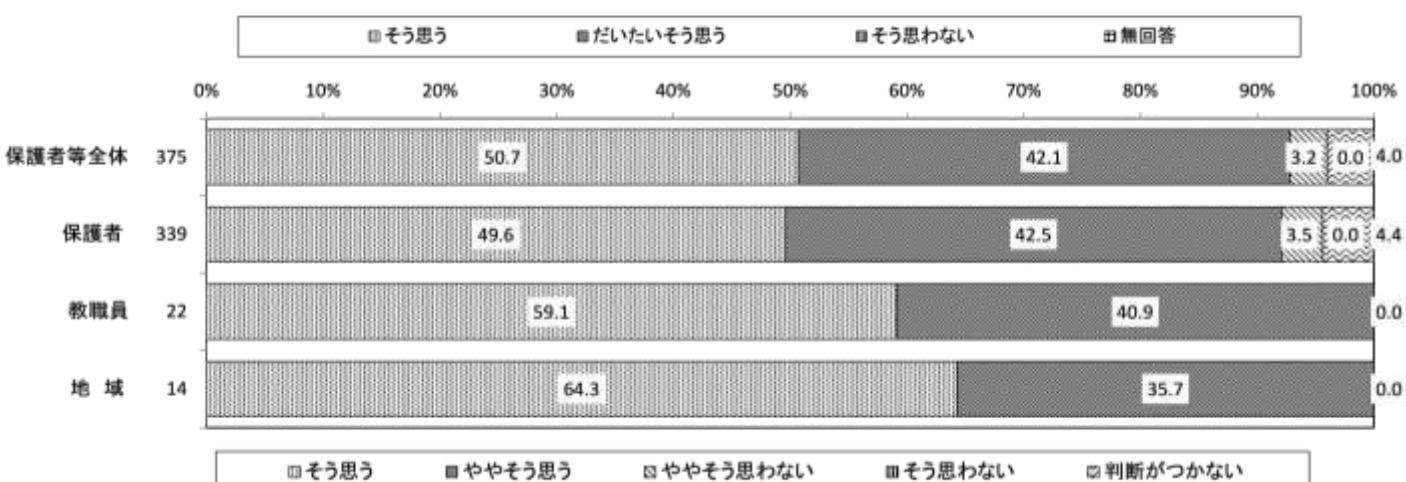
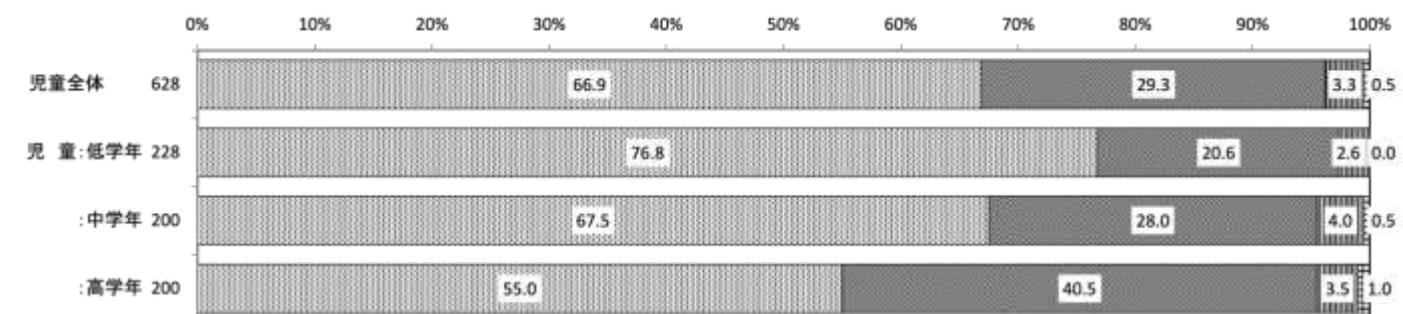
*のり *色鉛筆 *はさみ *セロハンテープ

豊かな人間性の育成（「人とかかわるおもしろさ」を体感する）

⑥規範意識の醸成

設問

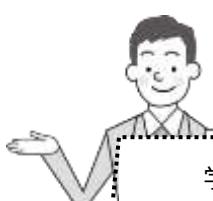
- 5.きまりを守ることの大切さを教わっています。(1・2年生)
6.人と協力し、助け合うなどの大切なことを学んでいます。(3・4年生)
6.高学年としての自覚を持ち、きまりやルールを意識して行動しています。(5・6年生)
⑥社会のきまり・ルールを意識する指導が学齢に応じて行われており、自己の生き方およびその基盤となる判断力が育まれている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 96.2% 保護者等 92.8%】(昨年度：93.2%)

規範意識を育むということについては、学校運営協議会としても、とても大切な問題として考えています。今後も重点的に取り組むテーマのひとつとして検討を行っていきます。



ちょっとおさらい！
「思いやりをはぐくみましょう！」について

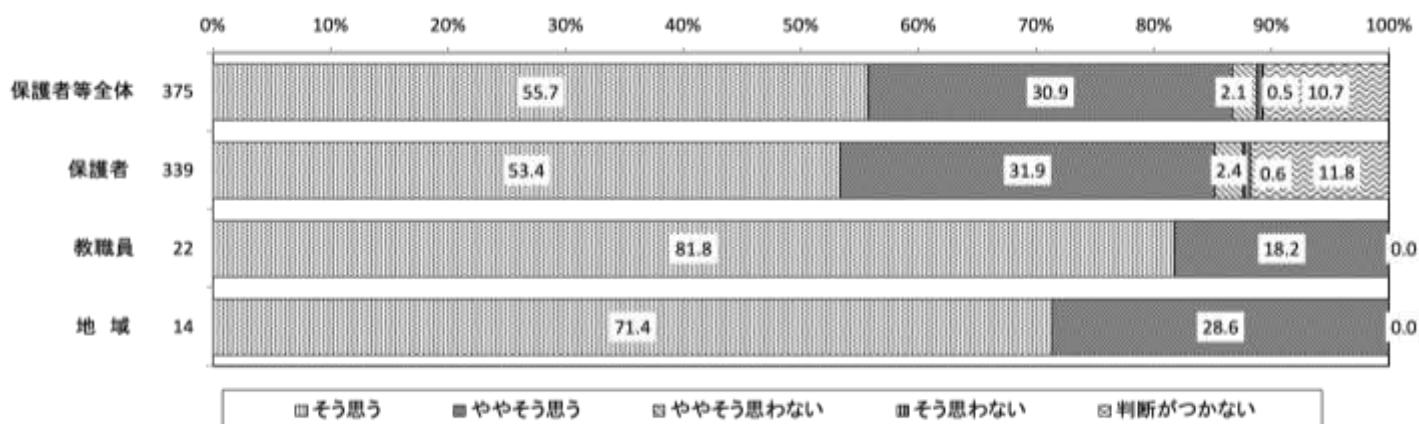
学校運営協議会では、「思いやりをはぐくみましょう！」を今年度の目標としました。

この目標のもと、「様々な人たちとかかわり、自分とは異なる考え方や価値観に触れる機会がないときだからこそ、身の回りの人たちの存在、人ととのつながりに思いを馳せましょう」、「人や自分に対する優しさを心がけて、子どもたちの、そしてご自身の『思いやり』を育んでいきましょう」という呼びかけを行いました。今後もご家庭や地域、学校などの様々な場で、一人ひとりの個性を尊重し、思いやりを大切にしていきましょう。

⑦地域社会の一員としての自覚を育む取組

設問

⑦地域とのかかわりとつながりを意識した様々な活動を通して、町会や商店会をはじめとする地域の方々との交流が行われており、天沼地域の一員としての自覚や地域への愛着心を育むための取組が行われている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 保護者等 86.7%】(昨年度 : 94.2%)

地域の方々との交流については、地域社会を構成する一員であるという自覚を育むためにも、こうした取組を継続的に行っていきます。学校支援本部がコーディネートする地域と連携した活動が、天沼小の大きな特色です。今年度はコロナの影響によりコーディネートできない取組もあり、残念ではありましたが、次年度以降また子どもたちにとってプラスになる取組のコーディネートを進めていきます。



知ってましたか?
天沼小とともに子どもたちをはぐくんでくださる地域の皆さん

主な連携・協働団体のご紹介です。そのほかにも、多くの地域協力者の方々にお世話になっています。

天沼地区町会

東京青年会議所杉並区委員会

教会通り新栄会

寿通り商店街

荻窪北口商店街

白山通り商店街

杉並かるた会

弁天池公園育て組「荻の会」

東京都染色協同組合

西友荻窪店

JA 東京杉並グリーンセンター

地域の施設(18か所)

*まちたんけん協力先

あまぬまおやじの会

天沼小学校 PTA

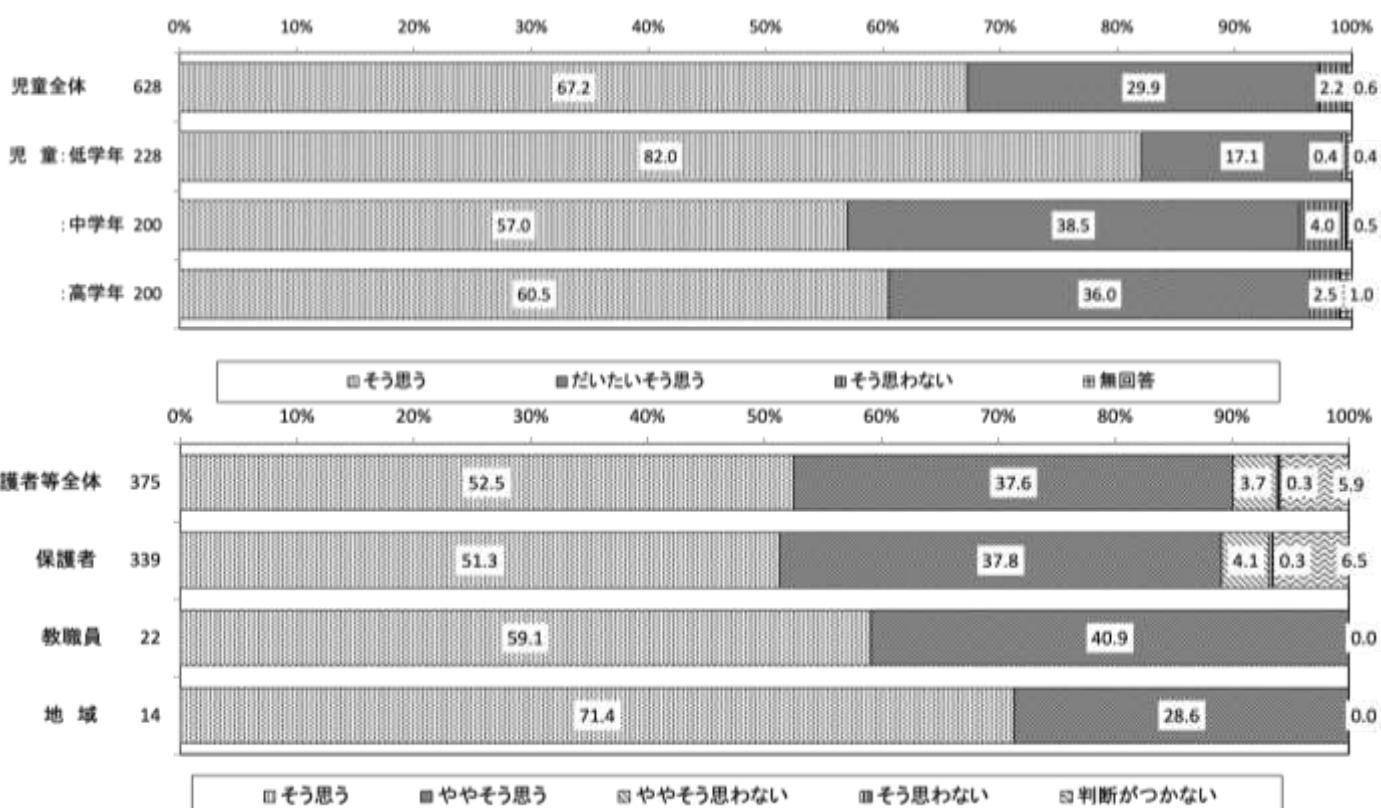
など

次年度以降またお世話になります！

⑧すべての人とかかわって生きる喜びの醸成（インクルーシブな心の育成）

設問

- 6.たてわりはんの人たちと楽しく遊んでいます。(1・2年生)
 7.こだま学級との交流やたてわり活動を通し、ともに生活をする仲間として大切に思っています。(3・4年生)
 7.こだま学級との交流やたてわり班活動を通し、互いに（天沼小学校で生活し学習する）仲間として尊重しています。(5・6年生)
 ⑧こだま学級との交流、全校たてわり班活動、2学年合同の学習などを通して、世代や文化の違い、障害の有無などにかかわらず、お互いを理解し合い、認め合える「共生社会」をめざし、「すべての人とかかわって生きる喜び」を児童が感じられるよう、様々な機会の提供と必要な支援が行われている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 97.1% 保護者等 90.1%】（昨年度：94.3%）

天沼小には通常学級と特別支援学級との交流や、たてわり班における異なる学年同士の交流があります。また、4年生は障がいのある方との交流学習も行っています。こうした機会を通じ、日々の学校生活はもちろん、総合的な学習の時間等においても、「人とかかわるおもしろさ」に向き合っていきます。各ご家庭でもぜひ、多様性を認め、様々な立場、個性を発揮する人々とともに心地よく生きていくというテーマについて会話を深めていただきたいと思います。



ちょっとおさらい！
 「天沼小がめざす教育」について

天沼小では今年度の教育方針として「～おもしろいこと、しよう。～」を掲げています。

このテーマは、下記の3つの「おもしろさ」で構成されています。

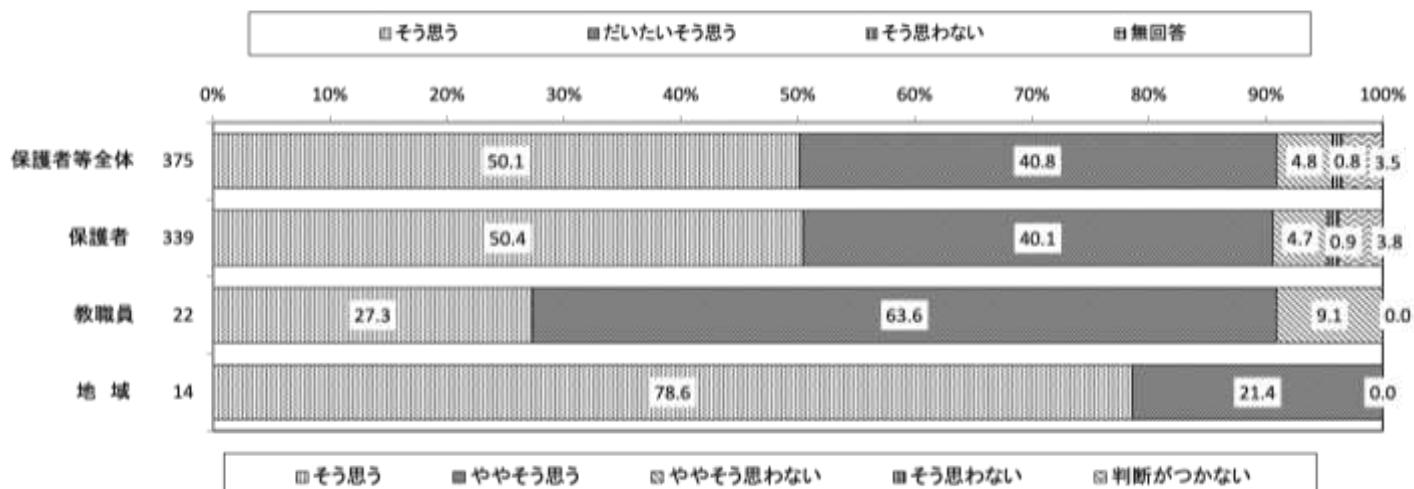
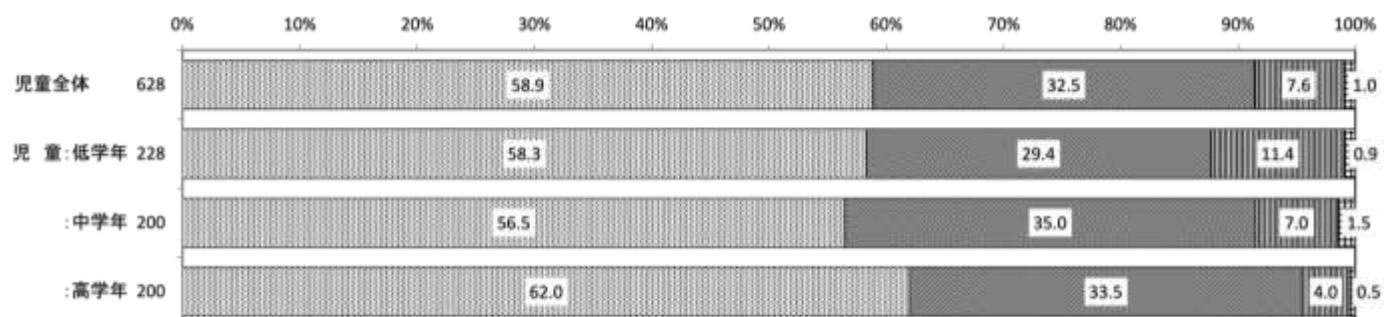
- ①「わかるおもしろさ」…知識や経験を身につけることによって、いろいろなことを理解できる基礎を培う（基本基礎の充実、ICT教育の継続推進）
 - ②「人とかかわるおもしろさ」…多様な人たちと関わることで社会性を身に付け、自分以外のすべての人を尊敬する心を養う（地域との連携による教育、インクルーシブな心の教育）
 - ③「生きるおもしろさ」…学校の中だけにとどまらず、子どもたちの人生そのものを支えていく「主体的・対話的で深い学び」を推進する（社会に開かれた教育課程の実現）
- 皆様もこうした「おもしろさ」を通して、子どもたちの学びを見つめ、支えてください。

心と体の健康づくり（たくさんのおもしろいことに出合うために）

⑨体力の向上と健康の増進

設問

- 7.朝の時間やなわとび、かけあしなどで体がきたえられています。(1・2年生)
8.休み時間や長縄週間を通して体力づくりにはげんでいます。(3・4年生)
8.長縄週間、持久走週間などの取り組みにより体力の向上に努めています。(5・6年生)
⑨「心と体の健康づくり」の充実に向けて、ゲストティーチャーの招聘などを通して充実した体育学習を行うとともに、「朝遊び」「30分休み」「長縄週間」「持久走週間」等の取組を計画的に取り入れることで体力の向上が図られている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 91.4% 保護者等 90.9%】(昨年度：92.7%)

密を避けた体育授業、休み時間の遊びなど、さまざまな工夫をして臨みました。長縄記録会は、縄跳びフェスティバルとして、縄跳び全般を楽しむための取組に変更しました。楽しみながら、またチームワークも大切にしながら、各学年が特色を出してチャレンジしました。

次年度も、教職員の創意工夫で、体力向上に取り組んでいきます。

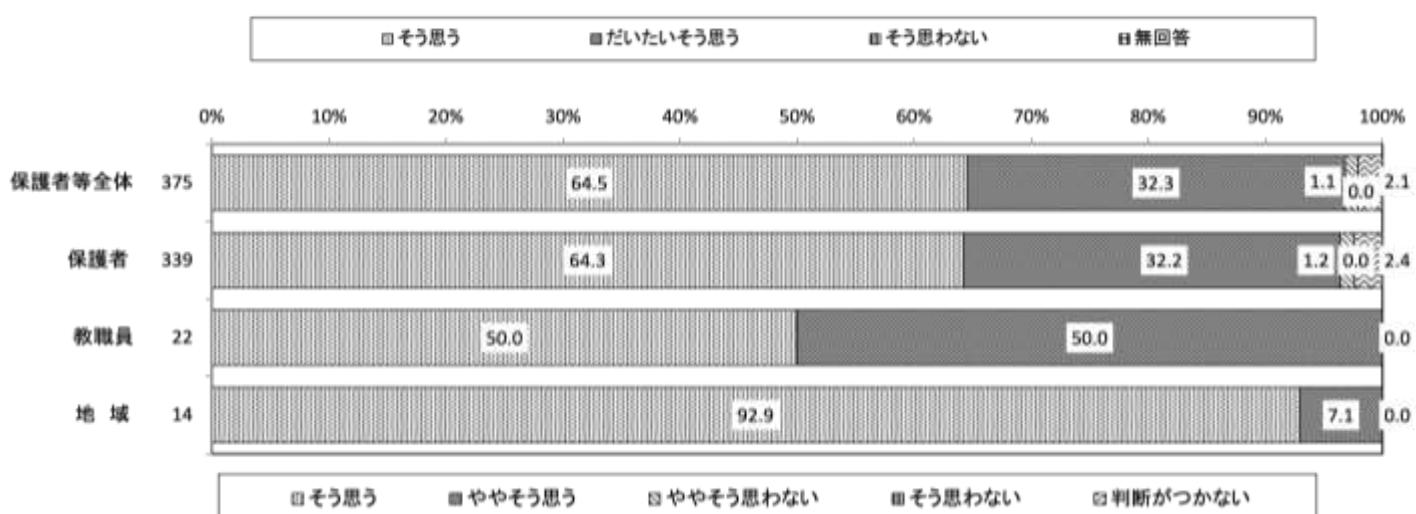
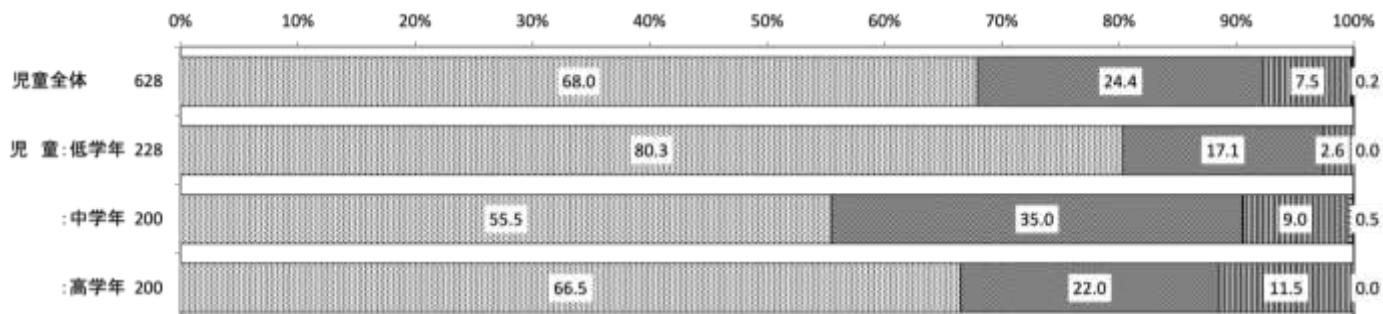
また、「朝遊び」は、安全が確保された場所で、子どもたちが遊びの中から様々なことを学ぶとてもよい機会となっています。さらに始業前に活動することで、スッキリした気持ちで学習に向き合えるという二次的効果も期待できます。今年度は密を避けるために1～3年生で実施しました。

なお、この「朝遊び」は、天沼地区町会の方々のご協力によって継続できている取組であること

⑩食育の推進

設問

- 8.お弁当きゅう食やリザーブきゅう食など、楽しくきゅう食の時間をしています。(1・2年生)
9.お弁当給食やリザーブ給食などで楽しく給食の時間を過ごし好き嫌いなく食べられるようになっています。(3・4年生)
9.多彩な給食(お弁当給食やリザーブ給食など)により好き嫌いのないように食べています。(5・6年生)
⑩日頃の給食の充実に加え、栄養士の専門性を生かし、食に関する様々な情報を提供するとともに、お弁当給食やリザーブ給食の実施など、食を通じた体と心の健康づくりが進められている。
(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 92.4% 保護者等 96.8%】 (昨年度: 92.3%)

栄養士や調理員との連携により、多様なメニュー、安全で安心な給食が提供されています。毎月の「給食だより」にも「食」をテーマにした話題が掲載されていますので、ぜひご確認ください。



知ってましたか？給食の工夫

通常の給食時間は、わきあいあいと楽しい時間のはずですが、コロナ禍での給食は感染予防のため、みんな黒板の方を向いてお話しを一切せずに食べています。大人も見習うべき姿かもしれません。

しかし、こんな時だからこそ、子どもたちのために工夫していることを給食だよりで知ることができます。11月には「給食 GO TO」として全国ゆかりの郷土料理や伝統料理を紹介し、献立として出されました。例えば、飛鳥汁(奈良県)、ちゃんぽん・カステラ(長崎県)、さんが焼き(千葉県)、鮭のちゃんちゃん焼き(北海道)などです。

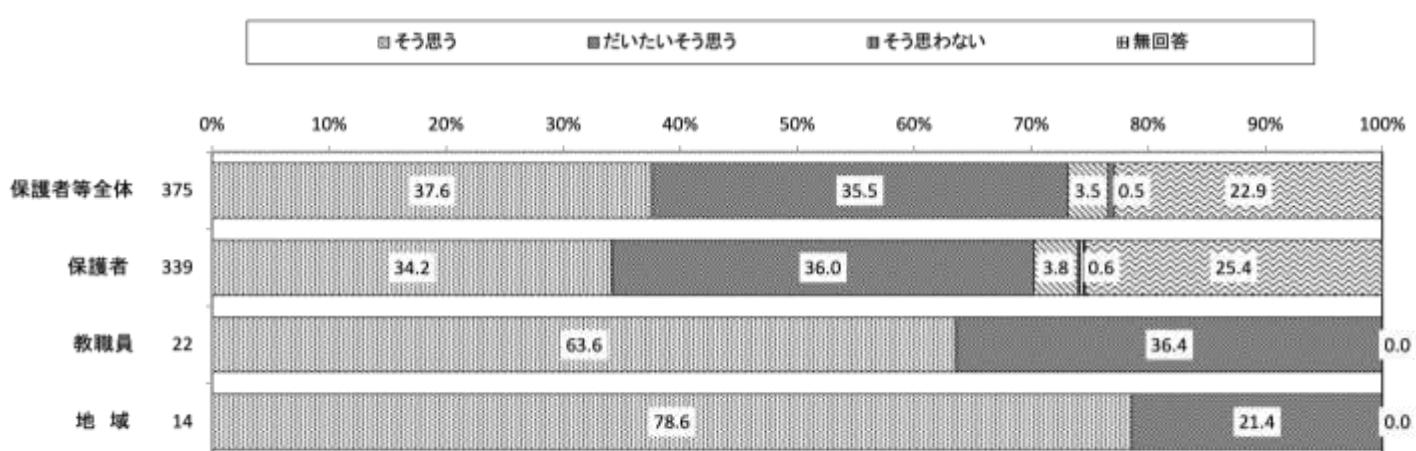
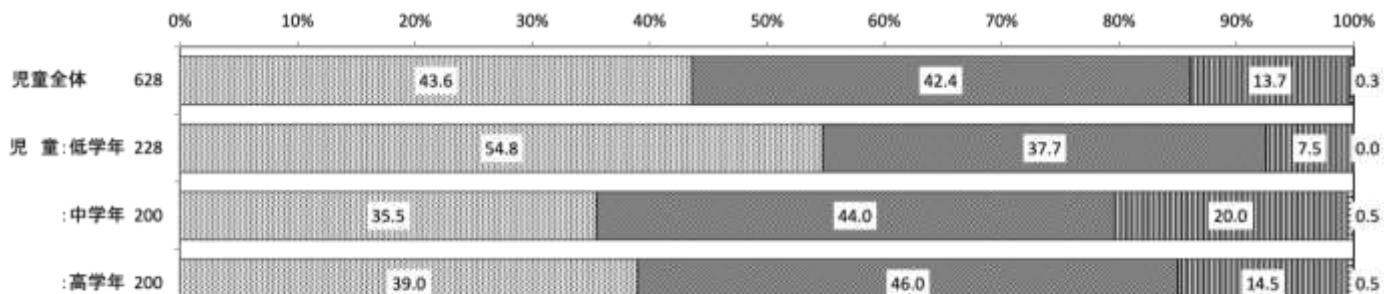
また、月によって6月は食育月間、7月は七夕と、季節感を大切にした内容と献立が載っています。自粛期間の「おウチご飯」で献立に迷った時は、給食に素敵なヒントがあるかもしれません。これからもご家族でご覧ください。

⑪スクールカウンセラーとの連携を通じた心の教育の推進

設問

- 9.こまつたときに先生にそくだんできています。(1・2年生)
 10.学習や生活で悩んだ時には先生やスクールカウンセラーに相談しようと思います。(3・4年生)
 10.学習や生活の中で悩んだ時には先生やスクールカウンセラーに相談しようと思います。(5・6年生)
 ⑪スクールカウンセラーと担任が連携して、人間関係に関わる問題の早期発見と予防に努めている。また誰もが気軽にスクールカウンセラーに相談できるよう、教育相談の環境が整えられている。

(保護者・教職員・地域)



【肯定回答率 児童 86.0% 保護者等 73.1%】 (昨年度 : 79.5%)

先生やスクールカウンセラーへ相談をしようとする児童の割合が、学年により差があることが分りました。スクールカウンセラーは常に子どもの相談に優先的に応じる形をとっており、1人につき2時間の面談時間を確保して、丁寧に相談に応じています。また、5年生は必ず全員が面談を行います。「相談」というと堅苦しくなりますので、「おしゃべり」をする感覚で気軽に話しかけてほしいとのことでした。

次年度に
むけて

道徳授業地区公開講座講師 永田繁雄先生のお話より



子どもたちの世界に、三間（さんま）：「時間」「空間」「仲間」が乏しくなったと言われて久しいですが、さらに4つ目の間（ま）である「手間」をかけることも苦手になっています。

ボタンやスイッチ1つで新しい画面や局面を気ままに移動することができるのであれば、わざわざ足腰を使って「手間ひま」をかけるのは面倒なことだと思うのは自然なことです。

心の教育も体験活動も「手間」という「ゆとり」の中でこそ充実します。「手間」をかけなければ個性が育ち、共感力が高まり、人間関係が育ち、それが将来、仕事を大切にしようとする意識へとつながります。

また、三間（さんま）は大人が用意できるけれど、実際に「手間」をかけて取り組むのは子ども自身が持つ心と体によるしかありません。

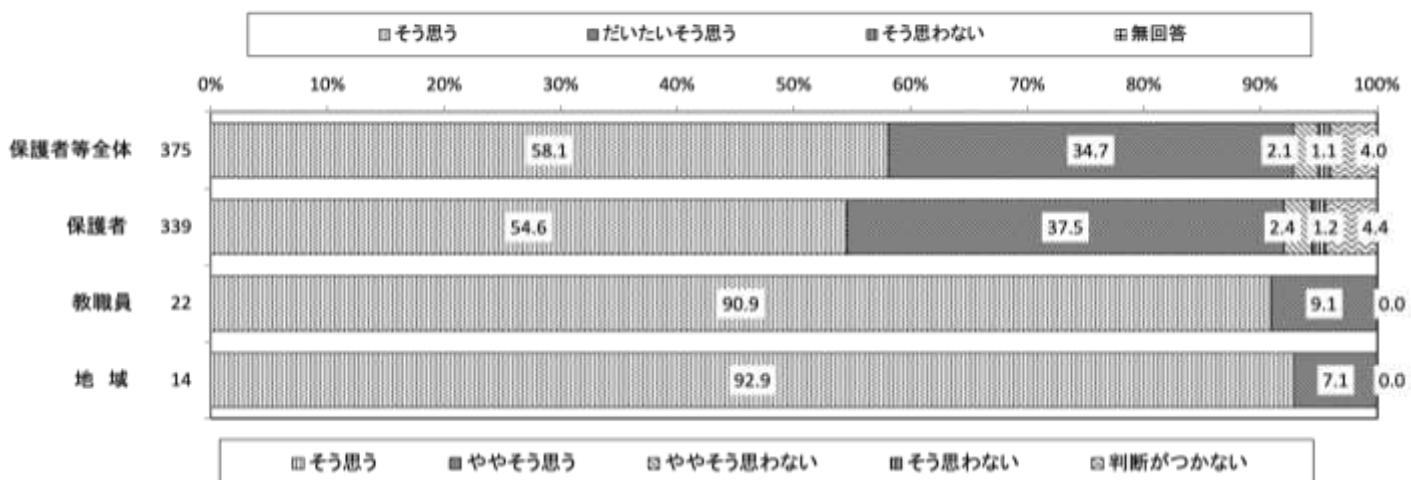
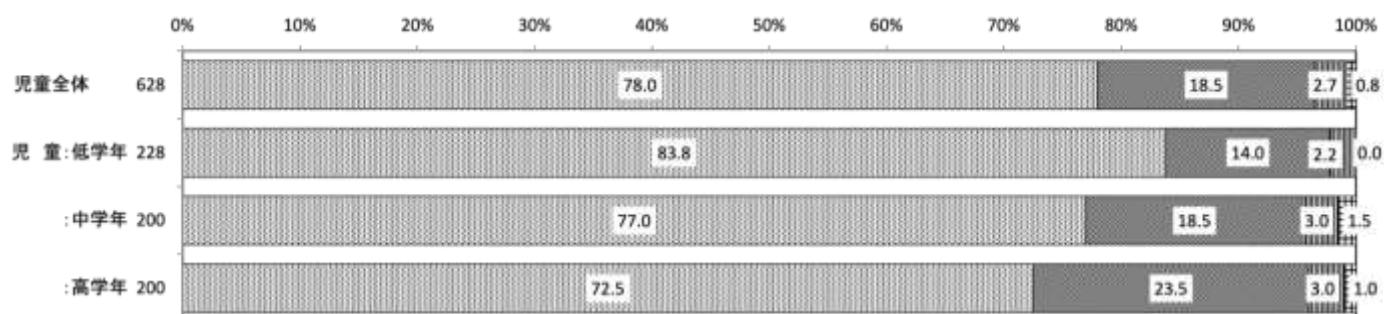
大人たちは、子どもたちにゆっくり、じっくり、手間のかかることをさせることが大切です。

特色ある教育活動（「天沼小ならではのおもしろさ」がここにある）

⑫読書タイム、お話会、読書週間の実施、学習情報センターとしての学校図書館の役割

設問

- 10.読み聞かせやお話会、図書の時間を楽しくすごしています。(1・2年生)
11.お話会、読書週間、図書の授業など楽しく読書の時間に取り組んでいます。(3・4年生)
11.お話会、読書週間、図書の授業など楽しく読書の時間に取り組んでいます。(5・6年生)
⑫「読書タイム」「お話会」「読み聞かせ」「読書週間」などの取組を通して読書への関心を高めている。また、学校図書館を拠点に教員と学校司書が連携し、授業に必要な参考資料を揃えるなど、「学校図書館＝学習情報センター」としての機能が発揮されている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 96.5% 保護者等 92.8%】(昨年度: 94.3%)

読書活動推進は天沼小の重点活動です。皆様からのご要望や期待のお言葉にお応えすべく、教職員、学校司書、学校支援本部の読書活動プロジェクトがしっかりと連携することで、よりよい図書授業を進めていきます。



読書活動推進の工夫

全学年一斉のハッピーブックタイムを年に1回実施しています。これは「先生方が読み手となる」読み聞かせタイムです。どの本をどの先生が、どこで読むかは当日まで分からず、サプライズ感が満載です。

そこで出会った本は、その後の貸し出し率がとても高くなります。本に興味を持たせることができると大好評です。

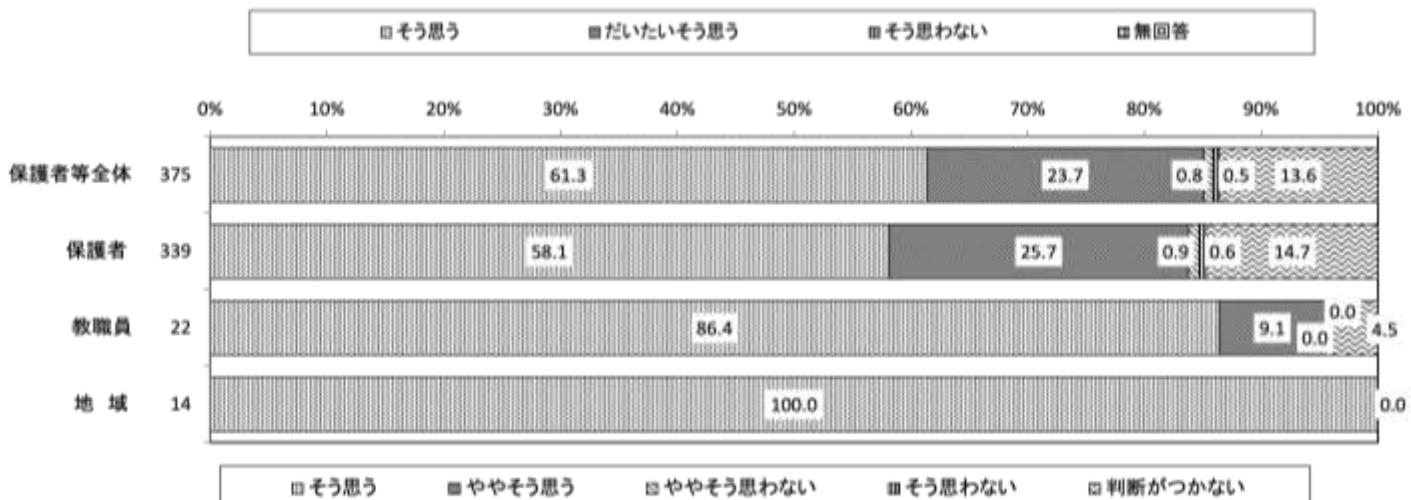
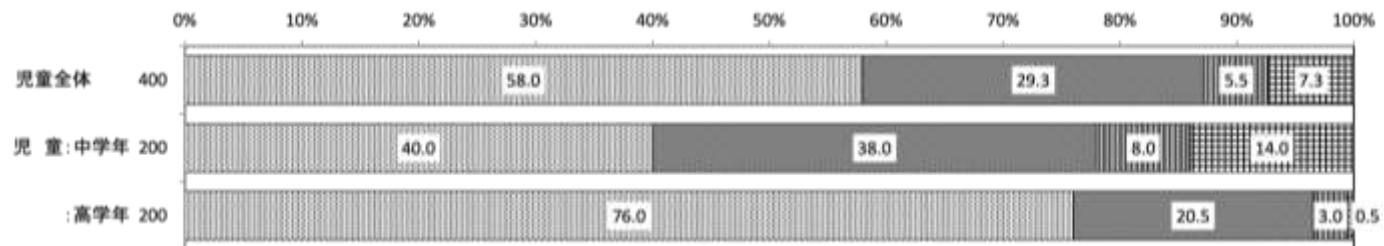
また、総合的な学習の時間や各教科の単元に合わせた本を、学校司書が選書してブックトラックにのせて各学年のオープンスペースに置いています。そうすることで、関連学習へのさらなる興味が湧いてきます。

こうした取組とともに「あまねまとしょだより BOOKMARK」が毎月必ず発行され、児童の手元に渡ります。そこには、新しく入った本が紹介されていますので、各ご家庭でも話題にしていただき、借りてみてはいかがでしょうか。

⑬お店番体験（3年）、地域安全マップづくり・障害のある方々との交流授業（4年）、起業体験プログラムAKP（5年）、わたしたちの天沼・裁判傍聴（6年）、手芸・ペットボトルキャッププロジェクト・フェスタこだま（こだま）の実施

設問

- 12.地域安全マップ作りを通して、自分が住んでいる地域のことや、人々のことがわかるようになりました。（3・4年生）
 12.「AKP（天沼会社経営プロジェクト）」や「わたしたちの天沼」「裁判傍聴」などの学習は、自分の将来の生き方に役立つと思います。（5・6年生）
 ⑯学齢や個人の実態・特性に応じた段階的なプログラムで多彩なキャリア教育を実施しており、児童が「ほんもの」に触れ、社会を知り、将来への夢や希望、自分の得意分野を活かして前向きに生きていく意欲を育んでいる。（保護者・教職員・地域）



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 87.3% 保護者等 85.1%】（昨年度：94.5%）

キャリア教育は、新学習指導要領で提唱する「社会に開かれた教育課程」を具現化する学習です。本来ならば、多様な体験学習を、多様な立場の方々、専門的知見を持つ方々と展開させる予定でしたが、制約されることも多い一年でした。皆さんの評価でも「判断がつかない」というご意見が多くみられました。しかしながら、教会通り新栄会の皆さん、長年の協働を基盤として、5年生の天沼会社経営プロジェクトに全面的に協力していただき、例年とは異なる工夫ある取組を行えました。また、6年生の裁判傍聴も多数の保護者の皆さまの引率サポートのおかげで実施することができました。今後も、こうしたキャリア教育をしっかりとカリキュラムマネジメントしながら進めていきます。



ちょっとお知らせ！

天沼小開校以来の取組である「天沼会社経営プロジェクト(AKP)」は、今年度「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール【実践報告部門】にて、特賞を受賞しました。

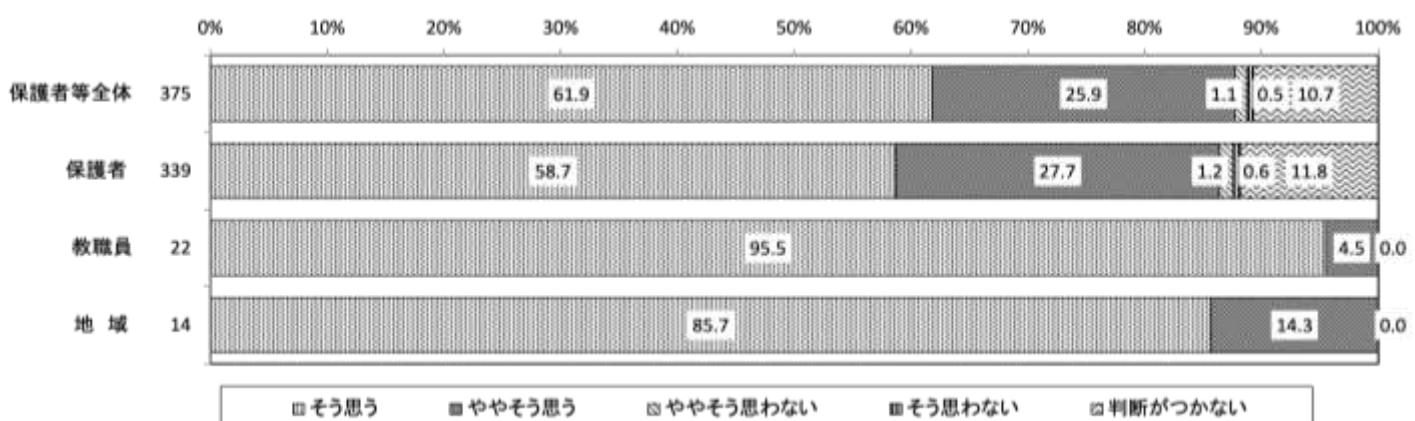
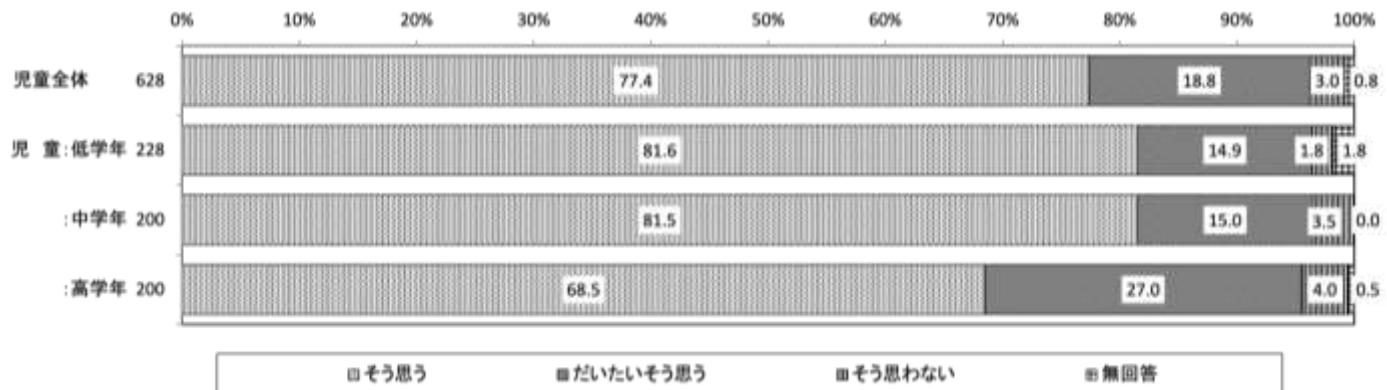
この取組は、「一年間をかけて本物の社会の厳しさや、協力してくれる人々の温かさに触れながら活動することで、子どもたちが将来様々な職業に就いて働く際に生きてくる貴重な経験をさせること」（報告要旨より引用）をねらいとしています。

子どもたちはこの取組を通して、主体的に活動する力、仲間と協力し合って目標を達成する力を身につけ、6年生という最高学年に向かいます。

⑭日本の伝統・文化を理解する「ほんもの」に触れる多様な文化理解教育の実施

設問

- 11.茶道や紙すき、おり紙教室などを楽しく行っています。(1・2年生)
 13.書道・華道・茶道・筝の体験を通して、日本の伝統・文化にふれることを楽しみにしています。(3・4年生)
 13.百人一首、茶道、書道体験などを通し、日本の伝統・文化のよさに気づきました。(5・6年生)
 ⑭ゲストティーチャーを招いた「ほんもの」に触れる活動等を通して、日本の伝統・文化への理解、郷土に対する愛着心や多様な文化への理解が深まっている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 96.2% 保護者等 87.7%】 (昨年度 : 95.0%)

地域の専門家をゲストティーチャーとしてお迎えしながら実施していますが、ほぼ予定通りの活動を行うことができました。今後も、日本の伝統文化に親しみ、日本の良さや多様な文化を理解できる子どもたちを育てるため、学校支援本部と協働しながら取組を進めていきます。



知つてましたか?

茶道、華道の学習内容

和の心を学ぶ体験授業として、茶道の授業では日本人の礼儀作法も学び、華道の授業では日本の伝統的行事やその際に生けられる季節の花についても学びます。

- | | | |
|-----|----|-----------------------------------|
| 1年生 | 茶道 | あいさつ、真・行・草 |
| 2年生 | 茶道 | ふすまの開け閉め、靴の脱ぎ方 |
| 3年生 | 茶道 | 箸づかい |
| 4年生 | 華道 | 桃の節句（桃）、端午の節句（花菖蒲）、七夕（笹）、重陽の節句（菊） |
| 5年生 | 茶道 | 利久百首より |
| 6年生 | 茶道 | 野点 |

知つてましたか？

天沼小の「特色ある教育活動」について

天沼小学校では、学校運営協議会と協議し、いつまでも変わらない本質的なことを学ぶ「不易」の教育と、時代の変化に対応する力をはぐくむ「進化」の教育とを、「特色ある教育活動」に位置づけています。



人が生きていく上で必要な「人間力」と「文化力」を育てる教育を「不易」の教育活動と捉え、学校支援本部のコーディネートのもと、毎年様々な地域の方にご協力いただきながら活動に取り組んでいます。

①日本の伝統・文化理解教育

本物に触れる体験として、茶道・華道・書道・染物・百人一首・折り紙・伝承遊び等を行っています。そこには、グローバル社会になっても、日本の伝統文化を大切にしつつ、海外の文化も理解できる心をもって欲しいとの願いが込められています。

②読書活動

本の世界を紡ぎ出す「素話」や「絵本の読み聞かせ」など、物語に触れる体験とともに、読書に親しむ場を作り、「想像力豊かな人間性」をはぐくんで欲しいとの願いが込められています。

学校支援本部読書活動プロジェクトのメンバーは、毎月「絵本の会」という勉強会を行なながら、子どもたちのために活動をしています。

③キャリア教育

地域とかかわりながら、「社会の一員としての自覚」と、自分の役割を果たす「責任感」を養い、前向きに生きていって欲しいとの願いが込められています。

本書9ページでご紹介した団体の方々はじめ、多くの方々の協力のもと進めています。



時代の変化に対応して「生き抜く力」を育てる情報教育を「進化」の教育活動と捉え、教職員の実践研究を通して、先進的な活動に取り組んでいます。

①I C T 機器を活用した授業のさらなる展開

タブレット P C をひとつのコミュニケーションツールとして活用するとともに、電子黒板やデジタル教科書等を活用しながら、6年間を通して、プログラミング的思考力、判断力を伸ばす授業を進めています。

②オンライン学習に対応するためのスキル習得

オンライン学習を推進するうえで必要になる「自ら学ぶ」「学習を受ける姿勢に責任感をもつ」などの習得を進めています。

③情報モラルの向上

情報を活用すればするほど、モラルの大切さが分かります。学校運営協議会主催で教職員・保護者・地域関係者で行った「サマーワークショップ 2016」においても議論された、「情報教育とモラル教育は並行して進めることが必要」というコンセプトを生かしながら、実践を進めています。

⑯ ICT インフラの利活用

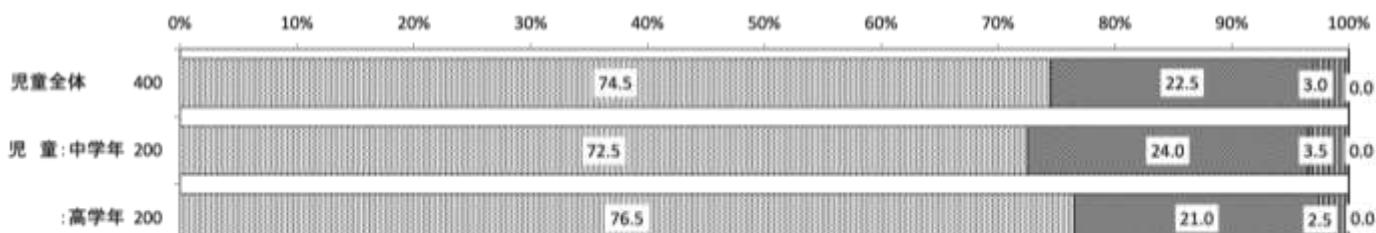
設問

14.授業において、いろいろなことにタブレットを使っています。(3・4年生)

14.授業に加え、学校生活の様々な場面でもタブレットを活用しています。(5・6年生)

⑯東京都教育委員会「情報教育研究校」として、デジタル教科書の活用やプログラミング教育の導入を積極的に行うとともに、電子黒板や通常学級のWindowsタブレット、特別支援学級のiPadなどを授業の中だけにとどまらず、学校生活の様々な場面において活用している。

(保護者・教職員・地域)

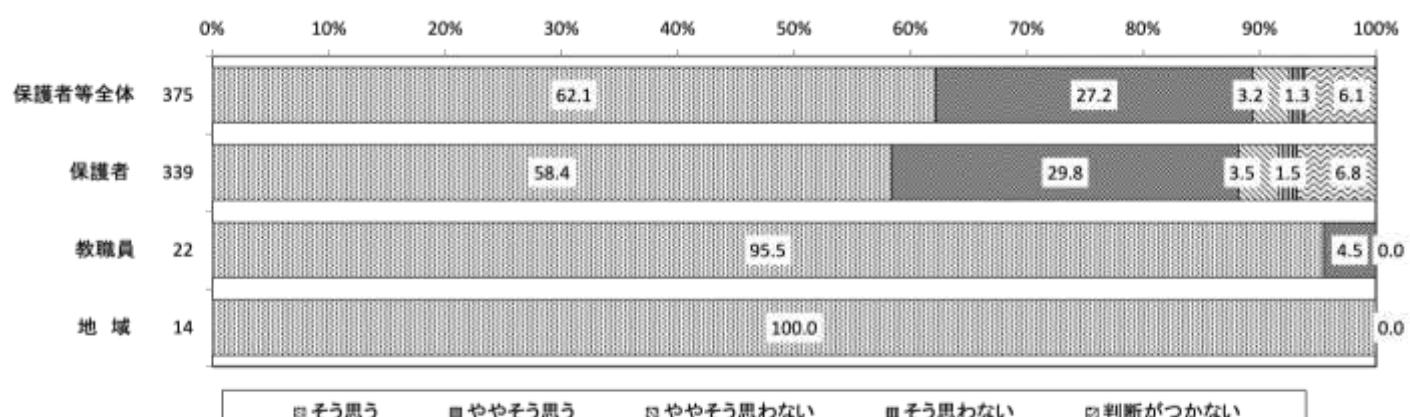


□ そう思う

□ だいたいそう思う

□ そう思わない

□ 無回答



□ そう思う □ ややそう思う □ やや思わない □ 思わない □ 判断がつかない

【肯定回答率 児童 97.0% 保護者等 89.3%】(昨年度: 94.8%)

次年度に
むけて

皆様もご存知の通り、天沼小では全国に先駆けて最先端のICT環境を整えてきました。これまで東京都プログラミング教育推進校としてプログラミング教育の実践研究に取り組んできたことが東京都全体の先進的な役割を果たしたと評価され、令和2年度「文部科学大臣優秀教職員表彰」を「天沼小学校教職員組織」として受けました。次年度も、充実したICTインフラを生かして、引き続きICTを活用した教育に取り組んで行きます。



【情報提供】天沼小の「ICT 環境」について

昨年度の終わりから今年度の 1 学期にかけては、長期にわたり臨時休校となったことで、皆様よりオンライン授業を要望する声がいくつも寄せられました。休校の際も子どもたちの学習の遅れが生じないようにしたい、という思いは皆様と同じです。

ICT 環境が充実している天沼小ですが、子どもたちの顔や宿題の答案などの個人情報を、外部のネットワークを通じてやり取りすることが杉並区により禁止されていたため、区立の学校では双方向のオンライン授業を行えない状況がありました。

そのため、天沼小では、制約がある中でもできる限りの取組として、以下の 2 つを行いました。

- ・オンデマンド授業動画の配信（天沼小ホームページ、YouTube）
- ・天沼小ホームページにおける家庭学習のツール・コンテンツの紹介

オンデマンド授業動画は、天沼小ホームページと YouTube の杉並区教育委員会チャンネルの天沼小限定のコーナーとに掲載され、両者併せて 50 本以上あります。杉並区でこれだけの数の動画を配信していた学校は他にありません。

また、学校運営協議会からも、杉並区教育委員会へオンライン授業の導入を求める意見書の提出を行いました。

さらに、杉並区の個人情報保護基準が改定された後の 3 学期には以下の 2 つの取組を行いました。

- ・タブレット PC およびリーター機器の貸し出し
- ・児童全員に Microsoft Teams のアカウント配布と、オンラインホームルームの練習および各家庭との接続テスト

しかし、杉並区の規則により、オンラインで接続することができるるのは児童生徒向けの授業等に限られるため、保護者会をオンラインで行ったり、行事をオンラインで配信したりすることは、まだできません。

また、配布物の送信もオンラインではできることになっています。

今後、全員に一人一台タブレット PC が貸与され、ネットワーク環境が整えられています。

オンライン化について許される範囲で、できる限りの対応を取っていきます。



⑯天沼中学校区における小中連携教育活動（AKA）の取組

設問

⑯天沼中学校全学年の生徒と、天沼小・沓掛小児童との交流学習を行うとともに、授業体験、部活動体験等も実施し、中学校生活へのイメージを膨らませている。さらに3校の教員が一堂に会して行う三校合同教員研修を通して、教員同士の日常的な情報、ノウハウの共有や、ICT・情報モラル教育の連携推進等、よりよい教育活動の実現をめざしている。（保護者・教職員・地域）

⑰近隣の幼稚園・保育園と連携した「わくわく交流プロジェクト」の取組

設問

15. 幼稚園児や保育園児との読み聞かせなどの活動を通した交流が、自分の成長にプラスになっています。
(3・4年生)
⑰近隣の幼・保育園児との交流活動（3年生の総合的な学習の時間として実施）により、児童にとっては「小1プロブレム」の解消、児童にとっては、自己有用感や責任感などが育まれている。（保護者・教職員・地域）

次年度に
むけて

今年度はできなかつた取組だった中、たくさんの自由意見をいただきました。

同種意見をまとめてご紹介します。

- ・とてもいい活動だと思っています。今年度はコロナ禍により実施できなくて残念です。来年度以降、また期待しています。
- ・むしろより繋がりが見えにくくなつたこれからこそ、連携が必要ではないかと思います。
- ・AKA の実施がなかつた事がとても残念です。幼稚園や保育園との交流は、園児からすると小学生への憧れをもつ機会となり、児童からすると年齢が上がることへの自覚の機会だったかと思い、とても残念です。
- ・オンラインで交流できたら、良かったです。
- ・天沼小と天沼中で保護者会の日が重なつた事があり参加できなかつたので、行事や保護者会等の日程を調整していただきたいです。
- ・活動は非常に有意義だと思いますので、実施いただけるとありがたいです。
- ・実施出来なかつた事が残念です。従来通りが難しいようでしたら、複数の学年で一緒に体験したり、対象学年をずらしたりする等、代替方法を検討頂きたいです。
- ・今後も型に捉われず、よりよいものに改善していっていただきたいです。
- ・入学、進学した園児、児童にとって心強い取り組みだと思います。コロナ後の再開が待ち遠しいです。

「来年度の実施を期待しています。」というお声がたくさんありました。当該学年ではない、ご経験のある保護者の方々からのご意見だと思います。良い取組であると考えていますので、今後も継続していくように調整を行っていきます。

安定した学校運営の実現

⑯学校施設の安全、防犯、防災への取組

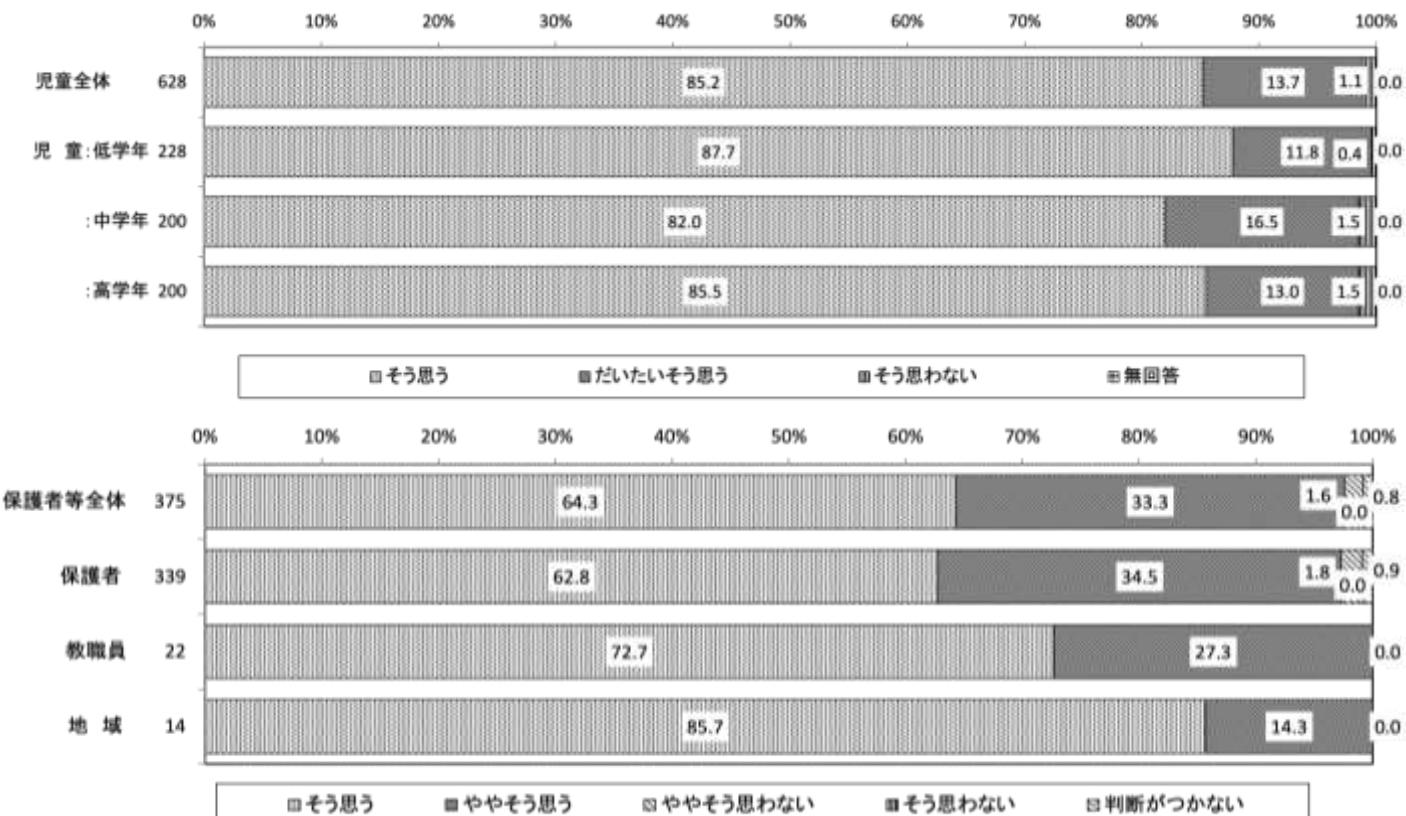
設問

12.ひなんくんれんでは、自分を守る方法を教わっています。(1・2年生)

16.避難訓練などで、災害の時は自分の身を守る方法を学んでいます(3・4年生)

15.避難訓練などで災害から自分の身を守ることを学んでいます。(5・6年生)

⑯月1回の避難訓練、引き取り訓練、地域を含めた訓練、セーフティ教室や防災教育などを通して、自分で身を守るための能力を育てるとともに、様々な設備や仕組みを導入することで、安全の確保に向けた取組が行われている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

【肯定回答率 児童 98.9% 保護者等 97.6%】(昨年度: 97.8%)

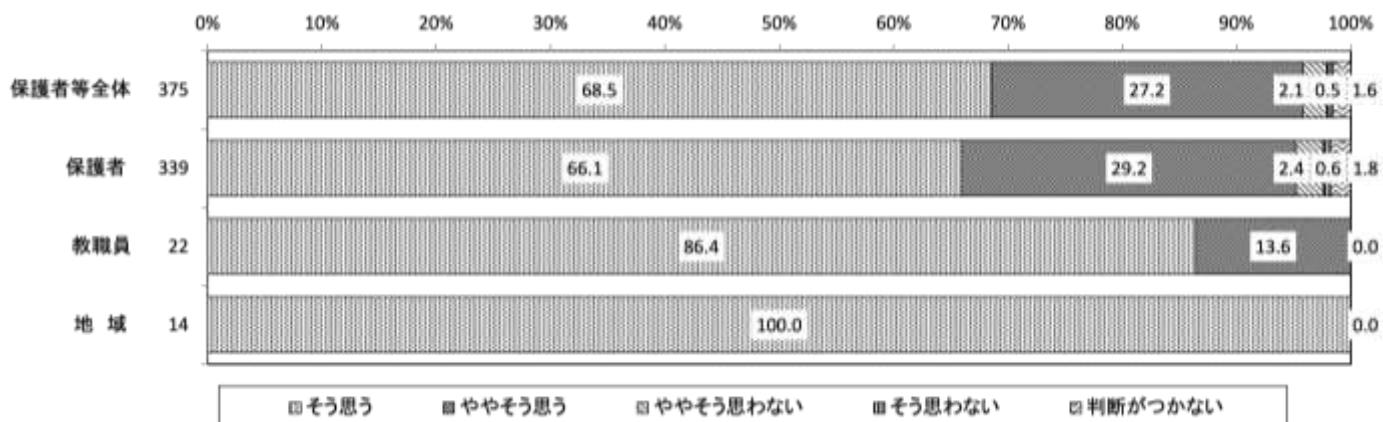
災害時への備えについては、西側階段の整備などを通じて、避難経路の確保にも対応できています。今後も階段の通行ルール(右側通行、駆け上がりない、駆け下りない等)を徹底していきます。引き取り訓練はいざという時のために必要な危機管理の取組です。保護者の皆様も積極的に、かつ整然とご参加をお願いいたします。

不審者対応訓練については、「子どもが必要以上に怖がってしまう。」というご意見もいただきましたが、今後は訓練日にカウンセラーとの連携を取り、子どもたちの様子を見ながら、随時声かけをして取り組めるように改善していきます。

⑯迅速かつ的確な情報の公開・提供

設問

⑯学校を取り巻く様々な情報について学校ホームページや「校長室だより」、学校・学年などで公表するとともに、緊急メール配信システムの活用などを通して、迅速かつ的確な情報の提供・共有が図られている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

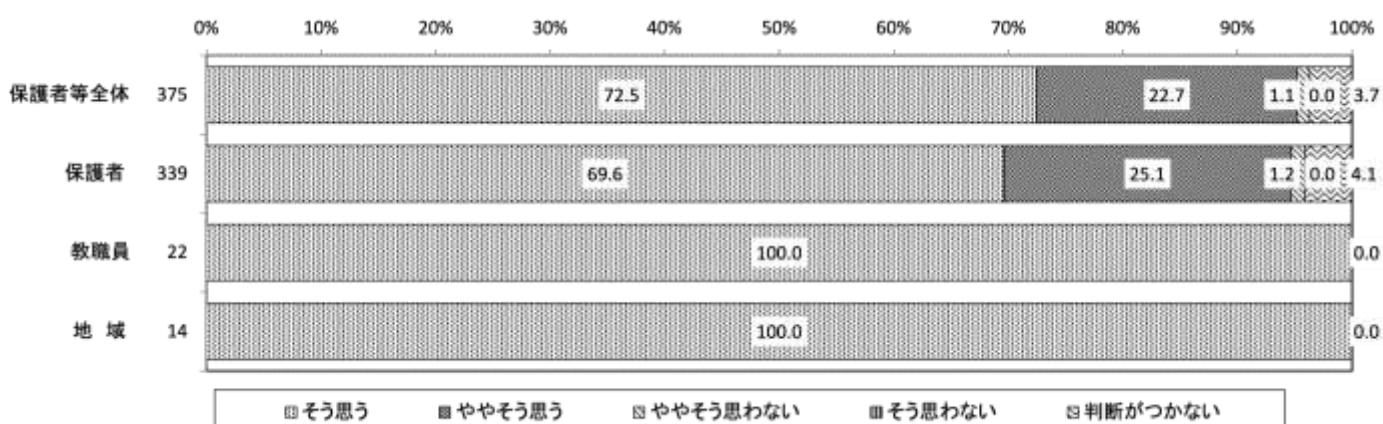
【肯定回答率 保護者等 95.7%】 (昨年度 : 94.0%)

自由記述欄のご意見では、学校の日常をきめ細やかに発信している「校長室だより」を高く評価する声をいただきました。授業公開も行えない中、ここでの発信が学校の取組を知っていただく機会となりました。今後も学校だより、学年だより、ほけんだより、給食だより、図書だより、カウンセラーだより等、きめ細やかな情報提供を行っていきます。

⑰ 学校支援本部（あまぬまワンドラーズ）との協働による教育活動の実施

設問

⑰ゲストティーチャーやサポーターのコーディネートをはじめ、遠足等の引率、学習補助、土曜日学校や放課後子ども教室の運営を担っている学校支援本部（あまぬまワンドラーズ）と協働し、地域の力を生かした様々な教育活動が行われている。(保護者・教職員・地域)



次年度に
むけて

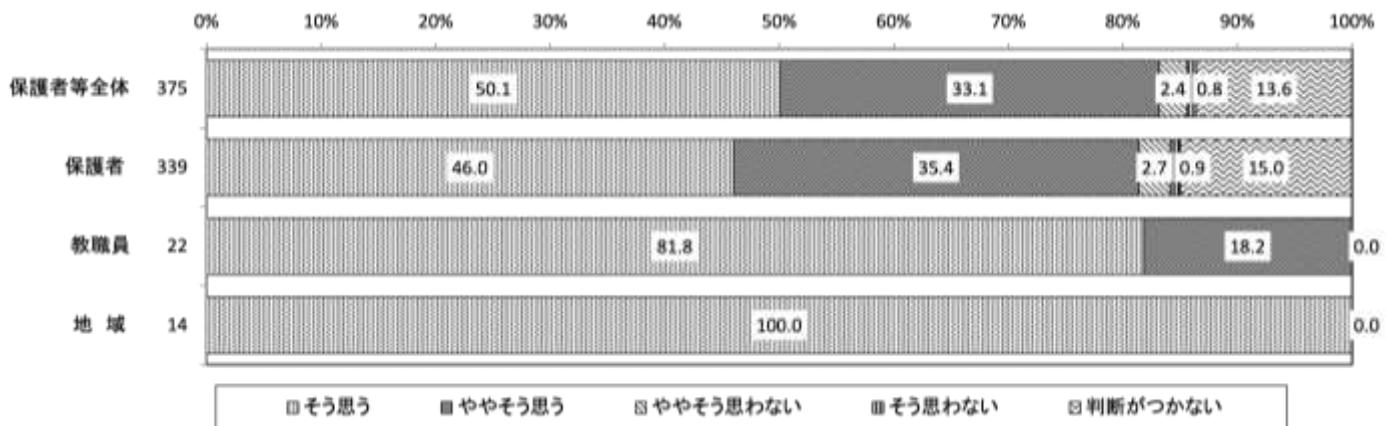
【肯定回答率 保護者等 95.2%】 (昨年度 : 94.9%)

天沼小学校の教育活動において、学校支援本部の存在が欠かせないものとなっていることを改めて感じる結果となりました。今年度は例年の取組のコーディネートはできなかつた部分もありましたが、感染予防を考えてマスクを作成する、ゲスト講師の授業を事前録画して学習したり、オンラインでつないで学習したりするなど、新しい形での学校支援本部としての取組を臨機応変に対応した一年でした。

②「コミュニティ・スクール（地域運営学校）」としての学校運営

設問

② 「地域運営学校＝コミュニティ・スクール」として、「学校評価アンケート」で寄せられた評価・ご意見を生かし、「地域とともにある学校」としての取組を進めている。（保護者・教職員・地域）



次年度に
むけて

【肯定回答率 保護者等 83.2%】（昨年度：87.6%）

「コミュニティ・スクール（地域運営学校）」は、学校と地域・保護者の皆様とが力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」を作る仕組みであり、地域と一緒に学校の教育活動をより一層充実したものとするこをを目指しています。

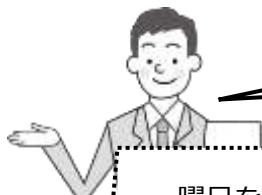
地域とともに歩む「コミュニティ・スクール」では、子どもたちの学力が高まるだけでなく、コミュニケーションの能力や地域に対する関心も高まっているという結果が報告されており、小学校教育では地域の方々や保護者の皆様との関わりの重要性が増しています。

天沼小では、様々な意見を学校運営に反映させるために、地域・保護者の代表や学識経験者などで構成された学校運営協議会が設置されており、校長先生とともに学校運営協議会が中心となって、子どもたちが質の高い教育を受けられるよう様々な検討を行っています。

「地域とともにある学校」という点については、「地域」と「学校」とをつなぐ組織である「学校支援本部」(あまぬまワンダラーズ)によって地域連携を実現させています。例えば、遠足などの学校行事の引率補助や、学習補助、茶道や書道などの専門家のコーディネートなどが学校支援本部を通じて行われています。このように、天沼小では各学習や行事に地域の方々の助力を頂いており、教職員と地域とが一緒にになって、レベルの高い学習を実現しています。

今回のアンケートでも皆様から様々な声を頂いておりますので、こうした声を地域との連携に生かし、地域の方々との連携をさらに深めて、子どもたちがさらにレベルの高い教育を受けることができるよう取り組んでまいります。地域・保護者の皆様に、さらなるご理解とご協力をお願いいたします。

ちょっとおさらい！
公開授業でのマナーについて



曜日を問わず、授業公開においては下記のマナーをご確認いただき、スムーズな授業の運営にご協力を願いいたします。

【授業公開でのマナー】

- * 教室や、教室前のオープンスペースでの私語厳禁！（子どもたちの授業の妨げになります）
・・・しかし、エレベーターホール周辺に交流スペースを設けます。
- * 教職員への声掛けは休み時間に！（児童のグループワーク中も授業中です）
- * 子どもたちの移動時間は子ども優先で！
- * 自転車での来校はご遠慮ください！（生活道路の駐輪、近隣の公園への駐輪により、近隣の方々にご迷惑をかけないようにしましょう）

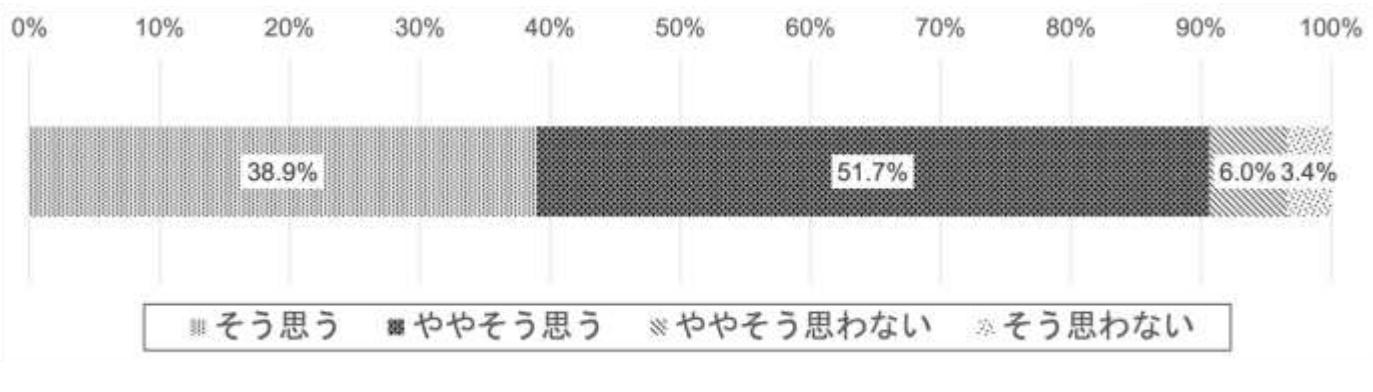
「思いやりをはぐくみましょう！」アンケート結果について



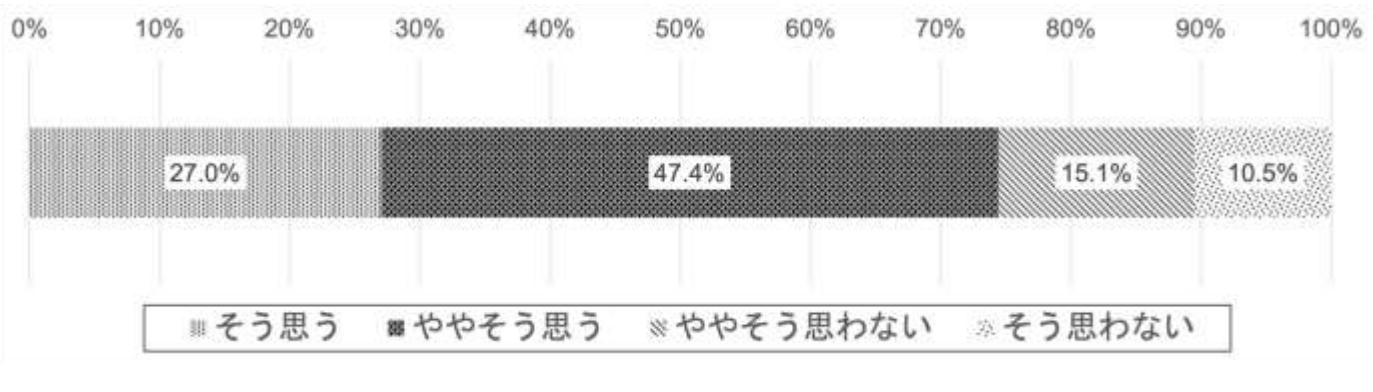
「天沼小学校がめざす教育」(6月号発行)において、学校運営協議会から皆様へ「思いやりをはぐくむ」を提案させていただきました。年間を通して保護者・地域の皆様にもご協力いただき、その結果は以下の通りになりました。これからも地域全体で取り組んでいきましょう。

※保護者・地域からの回答総数 353 件

この1年間を通して、お子さんは「思いやりをはぐくもう」としていたと思いますか？



お子さんに対して「思いやりをはぐくもう」と働きかけましたか？



ご自身が積極的にいろいろな人たちに思いやりを持つことを意識できましたか？

